

広報いこま

いこまち

このまちが、もっと好きになる。

令和6年

1

月号

vol.834

Jan/2024

IKOMACHI vol.834

Ikoma city, Nara pref.



/ Topics

P.2 市長新年あいさつ

P.4 特集 伝統をつなぐ輪

P.12 簡単にできる「5R」を実践しよう

P.13 地域共生や健康・福祉を考える一日

新春

市長新年あいさつ

あけましておめでとうございます

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

市

長として3期目を迎えた昨年は、物価高騰が長期化する1年でし
た。皆さんの不安や負担を少しでも軽減
できるよう、学校給食費の無償化や、さ
きめしいこま⁺プレミアムキャンペーン、市内の医療機関・福祉事業者への給
付金支給、公共交通事業者への支援金
交付など、本市独自の施策を実施してき
ました。

そ

んな中にあっても、「自分たちの日
常は、自分たちの手で豊かにしよ
う」と思う皆さんによって、彩りある多様
な活動とつながりが生まれ続けました。
また、職住近接の実現に向けて市が実施
する創業セミナーは市内外から130
人が受講し、共同体験農園で半年間野
菜作りを学ぶ「いこまファーマーズス
クール」にも定員の3.5倍もの応募が
ありました。生駒で暮らしをデザインし
ようとする意志の広がりを実感していま
す。

昨

年は、子育て・教育環境の良さを
強固なものにするため、子ども医
療費助成の対象を18歳までに拡大し、就
学前児童は無償化。学校教育ではI C
Tも活用しながら、主体性を養い一人ひ
とりに寄り添う学びを進めました。南小・
中学校では校舎建て替えに向け、地域の
皆さんと丁寧に対話して方向性を検討
しています。他にも既存住宅地を対象に
した脱炭素の取組、ニュータウン再生と
いった果敢なチャレンジも行ってきました。
今年も、将来都市像「自分らしく輝

柱

けるステージ」の実現に向けて、より多様
で豊かな暮らしが叶うまちへと進化する
施策を戦略的に進めます。

の1つは、まちの拠点形成と経済
の活性化です。近鉄グループホー
ルディングス(株)との包括連携協定も生
かし、消費者や働き手にとって魅力ある
エリアを創出します。また、生駒駅南口
を含む生駒駅周辺地域では「居心地が良
く、歩きたくなるまちなか」の実現に向け
た取組を公民連携で推進。学研高山地
区第2工区は、先行個別地区である学
研高山地区南エリアで準備組合を設立
するとともに、次のエリアのまちづくり
協議会の設立も予定しています。

一

つ目は、地域共生社会の実現に向
けた取組です。買い物や健康づく
りなど地域に必要な活動を自律的に生

辰

む「まちのえき」づくりをはじめ、市長就
任以来、一貫して人と人の関係性づくり
と地域参画の促進に取り組んできまし
た。10月には全国サミットの開催も予定
しています。デジタルや民間のサービ
スも最大限活用しながら、全ての世代や主
体の協創による、まちづくりを加速しま
す。

暮

らす価値のあるまち」という都市
ブランドの確立に向けて、ご支援
とご協力をよろしく願います。本年
が皆さまにとって、すばらしい1年とな
りますよう心からお祈り申し上げます。

生駒市長

小紫雅史





妹と恋人の幸せを祈って猿回しをする与次郎(右)と、相棒の女猿です。乙田(現・萩の台)には、古くからさまざまな物語を演じた人形や衣装などが、地域の皆さんの手で受け継がれています。

数字で見るまちの動き

人口

人口総数 ▶ 117,295人(+28)
世帯数 ▶ 51,617 (+56)
14歳以下 ▶ 15,019人(-3)
15～64歳 ▶ 67,764人(+23)
65歳以上 ▶ 34,512人(+8)
◇令和5年12月1日現在。外国人を含む。()内は前月との比較

火災・救急・救助

火災 ▶ 22 (+11)
救急 ▶ 5,071 (-44)
救助 ▶ 70 (+1)
◇令和5年11月末日現在。数字は令和5年1月からの累計で、()内は前年同期の増減数
-火を消して 不安を消して つなぐ未来-

交通事故

発生数 ▶ 2,283 (+55)
人身事故 ▶ 159 (-11)
死者 ▶ 3 (+3)
物損事故 ▶ 2,124 (+66)
◇令和5年12月1日現在。数字は令和5年1月からの累計(概数)で、()内は前年同期の増減数

多様性を認め合い、つながり
個人が尊重される共生社会の実現
毎月11日は「人権を確かめあう日」

点字と声による「いこまち」も発行しています。詳しくは障がい福祉課(内線7261)へ

いこまち

2024年1月5日(金)発行
CONTENTS

p.2 市長新年あいさつ

p.4 特集 伝統をつなぐ輪

お知らせ

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| p.12 「メルカリエコボックス」でリユースの促進を | p.21 上手な気持ちの伝え方「アサーティブ講座」 |
| p.14 エンディングノート(生駒市版)を作成中 | p.22 生駒市社会福祉協議会専任手話通訳者の募集 |
| p.15 生駒駅南口のまちづくり勉強会「イコミナラボ」 | p.23 公開講座「精神疾患を知る！」 |
| p.18 自然の中で親子で楽しもう！いこま山とともっと | p.24 「関係なさそう」は危険です慢性腎臓病予防講演会 |
| p.19 RAKU-RAKUはうすうたごえ脳トレひろば | p.25 あなたの一票で決まる「市民推薦」職員表彰 |
| p.20 第15回 らら♪まつり | p.28 確定申告は期限内に |

連載コーナー

- p.30 子育てひろば・健診・講習会
- p.32 ようこそ図書館へ
- p.33 まちのアルバム、バスでまちぶら
- p.34 消費生活 暮らしのQ&A、Rediscover IKOMA ～生駒再発見～
広報担当者が見つけた「生駒の冬」
- p.35 街人探訪
- p.36 「ちがいを」知ろう・楽しもう、生駒市立病院のお仕事図鑑
読者の声、編集後記
- p.37 特別企画 とびっきりの「笑顔写真」が集まりました

ライン市LINE公式アカウントで募集したところ、36件の応募がありました。紙面で掲載できなかった抱負などは、市ホームページ(右記QRコード)に掲載中です。





特集

伝統をつなぐ 輪

地元のお祭りや、その地域でしか見られない風習など。地元の人たちの手で守り継がれてきたものが本市にはたくさんあります。そんな地域の「伝統」を紹介します。 圖生涯学習課(☎0743-74-1111、内線3720)



公演が途絶えてから18年。ある日、一軒の家から人形の頭が出てきました。かつて村芝居をしていた一員、井上孫市さんは、周囲に熱心に呼びかけ人形を補修。着物は近所の家から

地域の力を合わせて保存

1954年頃まで続きました。村内はもちろん、近隣の村からも観客が訪れ、村芝居は年頃、「村のみんなで楽しもう」と役者を呼んで演技の技術を学び、舞台を設けて自ら公演したのが始まりと言われています。江戸や大坂の一大娯楽であった浄瑠璃や歌舞伎。1800

三味線に合わせて、義理と人情で揺れ動く人物を義太夫が語る「浄瑠璃」。それを人形で演じた人形浄瑠璃や歌舞伎などを村人の手で行う「村芝居」を楽しんでいた地域が本市にもありました。乙田村(現萩の台)です。かつて使われた人形や舞台の道具は、地元の人たちによってたいせつに守り継がれ、今もその姿を保ちます。総数214点、本市唯一の奈良県指定有形民俗文化財です。

乙田の村人が守ってきた宝

「保存すること」について聞きました
人形浄瑠璃の保存に携わる皆さん



私たちの今があるのは昔の人たちのおかげ。昔の技術や文化など、歴史を知ることはいせつです。時代が変われば興味も変わります。形あるものを捨てるのではなく預かって適切に保管し、後世に伝えたいと思っています。

萩の台文化財保存会会長
安井宏一さん

かつて村人が楽しんでいた人形浄瑠璃を演じられる人は、今はいません。だから、資料を後世に伝えていくことをいせつにしています。資料が痛まないように湿度や室温を交代で管理したり、地域の歴史調査・研究などもしたりしています。

保存会会員
中谷八榮子さん



萩の台文化財保存館



萩の台文化財保存会が運営する資料館です。萩の台の民家から見つかった、さまざまな資料が保管されています。1階は千歯扱きや唐箕などといった農機具などの民具を、2階には人形浄瑠璃や芝居の資料を展示しています（見学は要予約）。

▷ところ 萩の台1082（萩の台駅から徒歩約10分。駐車場はありません）

▷費用 無料

▷申込み・問合せ 生涯学習課（内線3720）



萩の台文化財保存館の
パンフレットが新しくなりました

生涯学習課や生駒ふるさとミュージアムで配布している他、市ホームページでも閲覧できます。



①萩の台文化財保存館に並んだ人形②夫婦の愛とあだ討ちを描いた物語「箱根霊験 壁 仇討」から、飯沼勝五郎の頭③②の勝五郎の妻、初花の頭④すれ違う男女の悲恋の物語「生写朝顔話」から、駒沢次郎左衛門（宮城阿曾衛門）の頭⑤浄瑠璃本（台本）⑥人形が使う衣装や小道具。衣装や小道具を使い分けることで、一つの人形をさまざまな演目に使用していました⑦太夫（語り。左）と三味線弾きの衣装。館内には、人形浄瑠璃以外の芝居資料も展示しています

布を集めて作り上げました。それらを適切に保存・管理するため、自治会のクラブとして「文化財保存会（以下、保存会）」を結成。資料を保管する「萩の台文化財保存館（以下、保存館）」もつくられました。保存館は地元の大工や会員などの手づくり。保存会には地元の歴史を熟知した人が代々集まって、昔の文化を40年以上にわたって伝え続けています。このように、自治会で地域の歴史を保存する施設を保有している例は珍しく、県内では唯一と言われています。

うちの伝統 の輪

子どもの「泥棒」が福を呼ぶ

お月見泥棒



①夕暮れ時の住宅街で、お菓子を置いている家を見つけると駆け寄る子どもたち②お菓子の種類は駄菓子やジュース、洋菓子など多岐にわたりました③どのお菓子をもらうか悩む目つきは真剣そのもの

日本各地で中秋の名月に行われる行事です。子どもたちは月からの使者と考えられており、家の前に置かれたお供えや、お菓子(昔は団子)を、この日だけは「泥棒」することが許されていました。本市では上町や高山などで古くから行われています。



炎を上げて幸せを祈る

大とんど



毎年1月に竹を円錐型に組み、火をつけて燃やします。無病息災・五穀豊穡などを祈願する冬の行事で、高山や西畑など、多くの地域で実施されています。西畑町では昔から実施されていたものの、40年ほど中断。昔の風習を引き継ぐため、ボランティア団体いこま棚田クラブといっしょに、棚田の景観を守る取組の一環で、約20年前から再開しました。



棚田を守る会会長の橋本勝さん

西畑では、書初めを燃やすと、字が上手になる言い伝えがあります。

また、とんどの火で餅を焼き、食べる時に一口だけちぎり、「蚊の口も焼け焼け、アブの口も焼け焼け」という言葉といっしょに投げ入れる風習も。蚊やアブに刺されなくなるといいます。地域の皆さんが集まる行事です。

①西畑町の棚田で行われた、とんど②注連縄や門松を、とんどで燃やすと正月に来た神様が天に帰れるといういわれがあります

雨を降らせる神様 ジョウさん



①ジョウさん。宅地造成のために移設され、今の地へ②「高山新八十八ヶ所」の第49番龍王之峰の弘法大師 ③西光寺の門前手前にあります (高山町7794)

古くから火難・水難除け・土地の災難除けの守護神として、現在は家内安全や「除災招福」などの守護神として信仰されています。手入れをするのは地域の皆さん。毎月交代制で掃除し、花を替え、洗ったお米を供え、たいせつに守っています。秋の彼岸頃に、高山町芝の山田垣内内の住民で「道作り(清掃など周辺の道を整備)」を実施。その後、ジョウさんの前で集まりお神酒で喉を潤し、集会所で「直会(供物をいただく宴会)」をします。近くには、生駒ゆかりの修験者・役行者の像や「高山新八十八ヶ所(四国八十八所霊場を模したもの)」の一つ、弘法大師像も祀っています。



芝自治会会長の岡田章嗣さん(右)、高山文化研究会の染岡政明さん

高山は雨が少ない地域。川より高い位置にあり、雨が降らない芝地区では、農業用水が不足しがちです。そのため、ジョウさんに、雨が降るよう昔から祈っていました。地域に馴染み深い神様ですね。

きんぼう じ

地域で毎日たいせつにお世話 金法寺



①阿弥陀如来座像。普段は扉を閉じていますが、涅槃会と地藏盆で公開されます②山崎町自治会館横にあります (山崎町8) ③毎朝供えられる「オッパン」

山崎町内にある安養寺の末寺。聖徳太子の孫である弓削皇子が建てたとされています。堂内にはお身丈2mもある本尊の阿弥陀如来座像が鎮座し、地域の当番が毎日「オッパン(炊いたご飯とお茶と水)」を供えます。また、「金法寺講」と呼ばれる集まりの皆さんが、毎月15日にお参りし、念仏を唱えて花をお供えされます。毎年3月15日に開催される、お釈迦様の命日である涅槃会や、8月中旬に開催される地藏盆・夏祭りは、地域の皆さんが集まる行事です。

(左から)藤田幸二さん、西本浩三さん、山崎自治会会長の岡田信男さん

涅槃会には50人ほどが参拝。阿弥陀様にお供えをします。地藏盆・夏祭りではゲームコーナーもあり、子どもたちの良い思い出作りの場になっています。古くから住む人も新しい人も、みんなでたいせつに守っている場所です。



みんなの健康を見守る 西菜畑薬師堂



①西菜畑町の奥、健脚の人向けの道です②薬師堂裏手にある、天馬に乗った薬師如来が降り立った馬蹄跡(手前)と足跡(奥)が残る石③薬師堂への手作り看板

医学が発達していない時代、病にかかると、治すには「祈る」しかありませんでした。そんなときに、地域の人々がお参りしたのが薬師堂の薬師如来様です。西菜畑に住む一家が代々、お堂や参道の整備などを続けてきましたが、子どもたちは県外へ。守り手がいなくなるのを心配し、お堂を守り続けるために自治会へ相談したところ、「地域のたいせつな薬師さんをみんなで守ろう」と、自治会で守り継ぐことになりました。毎年7月には「一仏奉納」として、地域の健康を祈る念仏をあげ、その後参加した人たちで直会。子どもも参加し、お菓子などを食べます。



西菜畑自治会会長の稲葉好勝さん

鬼取町の峰の薬師、北新町の枯木薬師堂と並び、生駒の「三大薬師」のうちのひとつといわれている、地域の宝です。地域の健康を見守り続けてきてくれました。自治会で参道やお堂の整備をすることは、地域の皆さんの交流の場にもなっています。

高山八幡宮-注連縄作り-

生駒市指定無形民俗文化財の高山八幡宮の宮座行事が行われる前に付け替えられる注連縄。拝殿や手水舎、舞殿など、鳥居以外に掛けられた注連縄は、地域に住む奥田庄作さんが一人で担っていました。奥田さんが昨年に逝去し、「誰が作るか」という問題が発生。今年は、毎年自宅に飾る注連縄を作っていた農家の山本利昭さんに声が掛かりました。

山本さんの指導で、「宮座(神社の氏子集団)」の皆さん(窪田暁、中岡陽希、山中福男、吉川均、奥田善信、長谷薫 敬称略)が注連縄作りに挑戦。使うのは、収穫したもち米のわらです。わらを叩いて柔らかくし、余分なものを取り除く「しび抜き」をし、束ね合わせた2本をねじり、さらに一本を加えて完成です。注連縄の長さは延べ70mに。6名の共同作業により二日で完成させました。

拝殿や手水舎などに掛けられた注連縄▶



昔と比べて注連縄を作る家も飾る家も減り、神社は縁遠くなったように思います。注連縄の風習を残すきっかけとして、いっしょに作った皆さんに、「今年の注連縄を作ってみては」と声を掛けました。習わしは一度やめたら復活しにくい。近所の子どもたちに作り方を教え、注連縄のことを知ってもらう活動もしています。

◀注連縄作りを指導した山本利昭さん

続ける輪

昔と比べて人々の暮らしは大きく変わり、担い手や関心を寄せる人が減りました。その変化に挑む姿を紹介します。



座の一員で、祖父から役が回ってきて参加しました。草に触ることすらあまりなく、注連縄作りももちろん初めて。作業は難しくベテランの山本さんのようにいきませんでした。完成して高山八幡宮に掛けられた注連縄を見ると、うれしかったです。地元の伝統に触れられる、貴重な経験でした。

注連縄作りに参加した中岡陽希さん▶



受け継ぐこと

地元の歴史や伝統を知り、守り継いでいくことが私たちにとってどうたいせつなのか。今木義法さんに聞きました。

いまぎ よしのり
今木 義法
生駒市文化財保護審議会会長、生駒民俗会会長。本市の歴史に造詣が深い。



時代は変わっていきませんが、地域の歴史や文化を残すことは重要です。特に習俗や行事など形がないものは、続ける人がいなくなると消えてしまう。これらは一度消えると、再開するのは困難です。皆さんの地域に残る文化や遺産は、自分が住む地域を理解するうえでたいせつなもの。まず地域の歴史・文化を知ってください。そして、今あるものだけでも続けてもらえたら、うれしいです。

時代の流れとともに消えた習俗(習慣や風俗)や文化は数多くあります。その一例が「講」です。昔、伊勢神宮に参拝するには多くの時間と費用が必要でした。そのため、「伊勢講」と呼ばれる集団を結成して、代表の一人が参拝するという習俗があったのです。「講」は信仰を深めるだけでなく、親睦を深めたり、情報交換したり、地域のコミュニケーションの場という役割も担っていました。しかし、「講」の習俗を続ける地域は数少なくなっています。習俗とともに、地域のつながりも失われてしまったようです。

消えゆくもの、残すこと



①



②



③

①和気あいあいと作業が進みます②往馬大社の宮司によるお清めの儀式を経て、種まきが始まります③背が高く、実りの少ない品種を使用④種をまき、たい肥と肥料を被せて発芽を待ちます⑤作業した皆さん。作業の後はみんなで食事を楽しめます



④

いこま たいまつ 往馬大社-松明の麦作り-

奈良県指定無形民俗文化財の火祭り。大松明に使われる麦は、西畑町の棚田で作られています。麦の種をまくのは、火祭り保存会の皆さん。今年の種まきには、会員ではない太田奈美さんも参加しました。太田さんは、麦畑の世話をしていた北村さんの娘さんの友人で、有里町で民宿を営んでいます。「生駒に来た観光客の皆さんの印象に残るものの一つが、棚田の風景だそうです。私も、棚田を守りたいと思っていました」という太田さん。北村さんが逝去し、麦畑を今後どうしていこうかと悩む姿を見て参加したと言います。

作業は1時間ほどで終了。会長の上埜^{うえの}作治^{さくじ}さんは「火祭りも麦作りも、継ぐ人が減ってきています。でも、たいせつなものだから、続いてほしいです」と話していました。麦は5月下旬に収穫。翌年の火祭りで使われます。



⑤

図書館×いこまち連動企画 伝統をつなぐ輪

地元の文化や風習、生駒の歴史などが分かる本を多数展示します。

▷とき・ところ 1月5日(金)~2月1日(木)、図書館本館

▷問合せ 図書館本館(☎0743-75-5000)

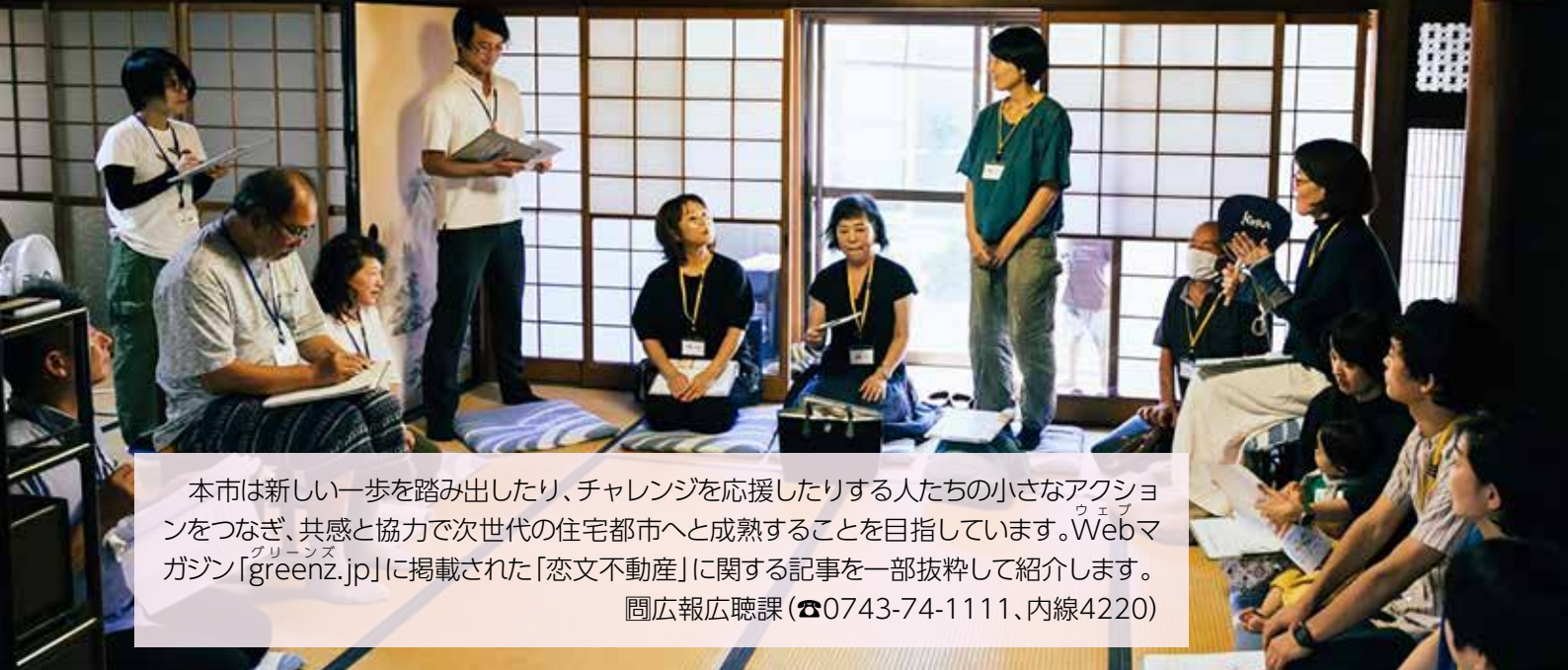


地域を知りたいせっさ

25年前、私は市内で「歴史と文化」という講座の講師を担当していました。そのときにいただいた、参加者からのアンケートが深く記憶に残っています。「自分たちが暮らす地域の歴史や文化をたいせつにしない社会には、明るい未来はない」
県外から引っ越してきた若いお母さんと、子どもたちに生駒の歴史や文化を教えるために講座に参加されたそうです。私も彼女と同じ考えで、「住み良いまち」にはインフラや福祉、教育などの充実とともに、住民が自身の地域の歴史や文化に関心を持っていることが必要だと感じています。生駒にも、はでではありませんが、数多くのすばらしい文化遺産が存在しています。例として、高名な僧・行基の墓があります。行基の墓が市内にあることを知らない人も多いのが実情です。身近な地域を深く理解することがたいせつだと感じてもらえる人が、もっと増えてほしいと願っています。

たいせつ
大切にしてきた家が、
かな
誰かの夢を叶える場所になる。

関わる人の“想い”を交わしながら 空き家の家主と活用者をつなぐ 生駒市の「恋文不動産」とは？



本市は新しい一歩を踏み出したり、チャレンジを応援したりする人たちの小さなアクションをつなぎ、共感と協力で次世代の住宅都市へと成熟することを目指しています。Webマガジン「greenz.jp」に掲載された「恋文不動産」に関する記事を一部抜粋して紹介します。
問広報広聴課(☎0743-74-1111、内線4220)

あなたは、自分のまちに活動拠点がありますか。やりたいことを叶えるための場所がほしいけれど、いい物件が見つからないという人も多いのではないのでしょうか。今回紹介するのは、そういった悩みを持つ人と地域の空き家所有者の“想い”をつなぎ、場づくりに寄り添っていく試みです。

生駒市は今、近い将来に急増するであろう空き家の対策に力を入れていきます。そこで新たに始まったのが、空き家を貸したい人と借りたい人の想いをつなげるプロジェクト「恋文不動産」。一体どんな取り組みなのでしょう。

空き家所有者と活用したい人の想いをつなげる恋文不動産とは？

恋文不動産は、「愛着ある家を気に入った人に使ってほしい」「新しいチャレンジを応援したい」という想いを持つ空き家所有者と、「活動の場をつくり、地域を盛り上げたい」「引っ越しを機に何かをはじめてみたい」という想いを持つ未来の借り主を、生駒市が間に入り、つないでいく取り組みです。

恋文不動産はどのようなに誕生したのでしょうか。住宅政策室の金丸彰吾さんに聞きました。

金丸さん…月に数件ほど「空き家を探している」



見学会の会場は、間口の広い大きな母屋。左端の壁の棟は、かつて鍛冶屋・鉄工所として使われていました



という問い合わせをいただくのですが、ただ住むだけでなく、自分の夢を実現したい方や、地域のためになることをしたいという声が多く聞かれました。そういう想いを聞けば聞くほど、何かお手伝いできればと考えるようになりました。

生駒市は閑静な住環境を重視したエリアが多く、住宅以外の目的で空き家を活用することが難しい側面があります。一般的な空き家バンクのように機械的にマッチングするのではなく、生駒らしいやり方を模索する必要があったため、想いを軸に恋文不動産を企画しました。

初年度となった令和4年度は3軒の空き家で見学会を開き、合計10名が参加。家主と参加者が想いを交わし合う姿に手応えは感じたものの、やはり条件面で難しさがあり、すぐにはマッ



左から金丸、下西さんご夫婦、本市住宅政策室の松本

チングに至らなかったのか。そのため令和5年度は比較的活用の幅が広い2軒に絞り、見学会を開催しました。今回はそのうちのひとつ、築80年超えの平屋の物件見学会におじゃました。

築80年超えの平屋で開かれた、家主と参加者が想いを交わす見学会

見学会は8月下旬に南生駒駅近くの小瀬町の平屋で開催されました。小瀬町は江戸時代は宿場町として栄えたまち。訪れた平屋は旧街道沿いにあり、向かい側の家もかつては宿屋だったそうです。

まずは全員の自己紹介からスタート。ゲストハウスの運営を考えている

人、日本文化を発信するギヤラリーをしたい人、染織（せんしゆ）を体験できる工房をつくりたい人など、さまざまな想いを



参加者には図面や利用できそうな補助金の資料などが配られました

もつ6組が参加していました。続いては、家主や建築士によるトークセッション。家主である下西さんご夫妻（啓次さんと妻の美和さん）がこの家について語りました。

下西さんからは、「今後住む予定はないけれど、手放すつもりはないので大切に使用（せう）してもらえたら」「家業は鍛冶屋から始まり、鉄工所、工務店と展開していった」「本家であり、多い時は職人さんを含めて14人で住んでいた」「にぎやかな場所だったので楽しくワイワイ使ってもらえたら」など、下西邸の歴史や家への想いなどが語られました。

その後、下西さんご夫妻から母屋の各部屋や中庭、離れ、屋根裏、屋上などを案内してもらいました。

参加者たちからは「思った以上に広い！」「しっかり手入れされているからきれい！」「建具が美しすぎる！」「といった感動の声や、「自分だけでは持て余してしまうので、みんなで借りませんか？」「と、共同利用のアイデアまで生まれていました。

恋文不動産の参加者なら、大事に扱ってくれそう

啓次さん…商売だけを目指している人ばかりかと思っていたけれど実際はぜんぜん違って。自分のやりたいことを通じていろんな人とコミュニケーションの場をつくらうとしている人が多かったので、こういう人たちなら大事にこの家を使ってくれそうですね。

美和さん…お願いして良かったです。こんなにたくさんの方が来られるとは思ってなかったし、みなさん本当に真剣で熱い想いをもっておられたので、できることなら全員に借りてもらいたいと感じました。

形にこだわらず、よりよい活用のあり方を模索していく

今後の展開をお聞きますと、金丸さんは「マッチング実現のために、なんとかしてお互いの想いをつないでいきたい」と語ります。

金丸さん…これまで、累計200名以上の空き家所有者に、悩みを聞くなどして向き合ってきました。だからこそ、空き家を活用したい人の話を聞くと「自分たち行政だからこそできるお手伝いがある」と強く思えるんです。

現在は、今回マッチングできなかった参加者のやりたい想いを見える化し、別の空き家所有者に届けることで、今度は逆に所有者から問い合わせを受

け、具体的なやりとりを進めていくことを考えているそうです。

空き家所有者の家を大切に（たいせつ）する想いを誰よりも知るからこそ、よりよい活用のあり方を模索する金丸さん。恋文不動産に取り組む中で、空き家対策にとどまらない可能性も感じるようになってきたといいます。

金丸さん…恋文不動産をきっかけに、初めて生駒市に来る人もいます。市役所内ではかの部署と連携すれば、物件以外の面からも「生駒で何かやりたい」と思っている人のお手伝いができるはずだし、そういうことをやっていかないといけない、と動きながら実感しています。すてきな人たちの想いを叶えるために、もっともっとラッシュアップしていきたいですね。

形のない「人の想い」を空き家を通じて形にする試みが、これからどんどん広がっていくそうです。

1月21日(日)に下西邸で活用候補者3組がプレゼンテーションを行い、活用者が決定される予定です。周辺に住む人や空き家の利活用に興味のある人は、参加してみてください。

▶問合せ 住宅政策室(内線3360)

Webマガジン「greenz.jp」に10月27日に掲載された記事
を本市が編集しています(全文は、
右記のQRコードから)。
ライター:狩野哲也
撮影:藤田温



▲全文はこちら

メルカリ×日本財団×生駒市で実施

「メルカリエコボックス」でリユースの促進を

家の中に眠っている「まだ使えるけど不要な物」を集めて、入れて、見える化する「メルカリエコボックス」を配布します。フリーマーケットなどでの販売や「フリマアプリ」への出品、知人に譲るなどリユース（再利用）しやすくなります。使い方は自由。みんなでごみを減らしましょう。——(株)メルカリと(公財)日本財団の取組に賛同し、実施します。

▷配布のとき・ところ 1月12日(金)から、SDGs推進課窓口や図書館・室、生涯学習施設など市内公共施設(なくなり次第終了)——詳しくは市ホームページを確認してください。

▷配布物品 メルカリエコボックス(40cm×29cm×28.8cm) 1個とオリジナル梱包資材(31cm×22.6cm×

3cm)3個のセット(一人1セットまで)

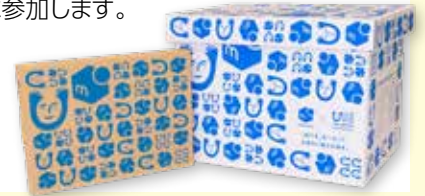
▷費用 無料

▷問合せ SDGs推進課(内線2131)

DATA:

他自治体で実施した実証実験では、配布した家庭の74%が不要品を入れ、うち55%がリユースに活用したという結果が出ました。今回は、本市を含む全国23市町村が取組に参加します。

リユースに活用してください▶



簡単にできる「5R」を実践しよう

環境保全課(内線2360)

本市は令和3年からの10年間で、ごみ排出量15%削減を目指す「生駒市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」を立てています。その達成のために進めているのが「5R^{*}(右記参照)」。

■市内全11局で開催！郵便局deフードドライブ

家庭で余った食料品を集めて、フードバンクや慈善団体などへ寄附する「フードドライブ」。これまでは市役所と、たけまるホールの2か所で開催していましたが、市内郵便局でも実施します。——日本郵政グループの協力、(株)かんぽ生命保険の協賛で実施します。

▷とき・ところ 1月22日(月)～26日(金)、市内全11郵便局

▷対象の食品 ①常温保存できる②未開封で箱(多少の傷は可)に入っている(外装の破れなどは受付不可)③賞味期限まで1か月以上ある(賞味期限が明記されていないものは受付不可)の全てを満たすもの——米や乾麺、缶詰、レトルト食品、カップ麺、調味料、菓子類、飲料(アルコールは不可)などが一例です。

■もったいない食器市

まだ使える食器を回収し、再利用する取組です。

▷対象 市内に住む人(持ち帰りは一人1日5点まで)

▷とき・ところ 月曜～土曜日の9:00～11:15・13:00～15:30、清掃リレーセンター事務所前(木曜日の午後を除く)

——3月26日(火)11:00～15:00に、ベルテラスいこまベールステージで実施される「プラレールひろば」内でも開催します(雨天中止)。



Info.

環境大臣表彰おめでとうございます

もったいない食器市を開催している、(特非)関西ワンディッシュユエイド協会が、令和5年度循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰を受賞しました。



真弓小学校で児童発案のフードドライブを開催

同校4年生の本田翔輝^{しょうき}さんの発案で、フードドライブの第2弾を開催します。前回開催時は、150点を超える食品(約30kg)が集まった取組。食品は、生駒市社会福祉協議会に寄附しました。



▷対象 同校の児童

▷とき・ところ 1月22日(月)～24日(水)、真弓小学校正門前

※5Rとは…

Refuse (リフューズ) : 受け取らない

Reduce (リデュース) : ごみを出さない

Reuse (リユース) : 繰り返し使う

Repair (リペア) : 修理して使う

Recycle (リサイクル) : 資源として別のものに作り変える

地域共生サミットプレイベント第2弾×第5回ケアリンピック生駒

地域共生や健康・福祉を考える一日

費用
無料

▷とき・ところ 2月18日(日)、コミュニティセンター

■地域共生社会推進全国サミットプレイベント第2弾

本市の孤独・孤立の現状について学び、どんな対策や、つながり方があるか、さまざまな分野の視点から考えます。これは、「いこま 孤独・孤立対策連携プラットフォーム」の設立を記念して開催します。

◇内閣官房孤独・孤立対策室の大西連^{れん}さんの基調講演

◇パネルディスカッション…認定NPO法人全国こども食^{くさ}堂支援センターむすびえ理事長・湯浅誠^{ゆあさ まこと}さん、(一社)和草代表理事・溝口雅代^{みづぐち ましろ}さん、萩の台住宅地自治会長・山下博史^{しもやま ひろし}さん、「ユースネットいこま」相談員・花山幸江^{はなやま ゆきえ}さん、(一社)社会福祉士事務所Bright^{ブライイト}・西谷裕輝^{にしにたに ひろ輝}さん

▷時間 14:00~16:30

▷定員 250人(当日先着順、オンラインは市ホームページから要事前申込)

▷問合せ 地域共生サミット推進室(内線2961)



■第5回ケアリンピック生駒

令和5年度生駒地区医師会「市民公開健康講座」

1部は近畿大学奈良病院消化器外科教授の木村豊^{ゆきむら}さんが「元気なうちから、『もしも』の話(人生会議)をしませんか」を、2部は(医)健和会奈良東病院理事長の鉄村信治^{てつむら のぶち}さんが「高齢者のリハビリテーション」について話します。

▷時間 10:40~12:30(開場は10:15)

▷定員 250人(申込順)

▷申込み・問合せ 1月22日(月)から、はがきか電話、ファクス、メールで、氏名、参加人数、連絡先を明らかにして、同医師会事務局(〒630-0258 東新町1-3、☎75-3535、☎75-5188、✉ikoma@nara.med.or.jp、電話は平日9:00~17:00)

詳しくはこちら▶



会場では、その他にもさまざまな企画を実施

喫茶スペースや福祉事業所によるお菓子やパンの販売、フードドライブなどを実施します(飲食・購入は有料)。

▷時間 12:30から



小・中学校の新入学学用品費を入学前に支給

経済的な理由で就学が困難と認められる児童・生徒の保護者に、通学費用などを支給する就学援助費の一部として、新入学学用品の購入費用を入学前に支給します。

▷問合せ 教育総務課学務係(内線2671)

■小学校入学予定者

▷対象 令和6年4月に小学校入学を予定している幼児の保護者で、次の三つの要件を満たす人

①市内に住んでいる(令和6年1月31日(水)時点)

②申請時に生活保護を受給 就学援助費の認定基準額
していない

③次の認定基準に該当する

子どもの数 ^{*1}	基準額
1人	4万2,700円
2人	6万4,000円
3人 ^{*2}	8万5,300円

◇令和5年度市民税所得割課税額(住宅ローン控除・寄附金控除などの税額控除適用前の額)が基準額(右表)以下の世帯(世帯の中に収入のある人が二人以上いる場合は、その額を合算)

◇病気や事故、災害、失業などで、子どもの教育費に困っている世帯

▷支給額(定額) 5万600円

——認定・不認定に関わらず3月初旬に結果を通知し、認定者には3月下旬に給付金を支給予定です。

▷申込み 2月1日(木)~15日(木)に同課にある申請書に必

要事項を書いて、直接同課(郵送不可)

——申請書は、市ホームページからもダウンロードできます。なお、市立小・中学校、幼稚園、保育園、こども園では申込みを受け付けません。

■中学校入学予定者(申請不要)

▷対象 令和6年4月に中学校入学を予定している小学6年生の保護者で令和5年度就学援助費を受給している人(国立や私立小学校へ通う児童は対象外)

——今年度の就学援助費を受給している保護者に支給しますので申請不要です。今年度の受給申請をする場合は、2月29日(木)までに申請してください。辞退する場合は、同課に辞退届の提出が必要です(詳細は、2学期分の支給通知に同封)。

▷支給額(定額) 5万7,400円(3学期の給付時に支給)

注意事項

◇給付後に市外へ転出する場合、返還は原則求めませんが、転出先市町村へ給付済みの旨を通知します。

◇来年度の就学援助費受給を希望する人は、5・6月(予定)に改めて申請が必要です。今回の申請で認定となり、新入学学用品費の給付を既に受けている場合、来年度の新入学学用品費は支給しません。また、今回認定されず、来年度の当初申請で認定となった場合は、1学期分の給付費に新入学学用品費を含めて9月に支給します。

◇生活保護受給者で、保護費から入学準備金が支給される場合は、就学援助費では支給しません。

エンディングノート(生駒市版)を作成中

皆さんの投票でタイトルを決定！

☎地域医療課(内線2410)

突然の病気や事故、認知機能の低下など本人の自己決定が難しい状態で、延命治療やケアの方法についての選択を家族などが迫られることがあります。そのときに備えて、本人が望む形で最期を迎えるためのツールとして、「エンディングノート(生駒市版)」を作成中です。

家族や支援者と話し合い、思いを共有するためのツールとして多くの人に活用してもらえるように、市内の医療介護従事者で構成されるワーキンググループで検討してきました。皆さんの投票で、このノートのメインタイトルとサブタイトルを決定します。



▲ページはこちら

——ノートの詳細は、市ホームページを確認してください。

▷投票方法 1月18日(木)までに、以下のいずれかから

◇市ホームページ

◇市役所1階ロビーの掲示

◇所定の応募用紙を郵送かメール、直接、同課(〒630-0288、☎hospital@city.ikoma.lg.jp)

▷発表 2月18日(日)に開催のイベント「ケアリンピック」で発表し、ノートの完成版を配布予定です。

——後日、市ホームページやSNSでも発表します。

「メインタイトル」の候補

候補1:最期までわたしらしく

候補2:もしものために

候補3:わたしノート

候補4:想いを伝える「私ノート」

候補5:私の人生ノート



「サブタイトル」の候補

候補1:まだ元気やけど言っとくわ

候補2:自分らしく最期を迎えるために

候補3:もしもの時のために 私が伝えたいこと

候補4:最期までわたしらしく生きるために伝えたいこと

候補5:話したい思いと共に

いきいきセカンドライフを応援！第2弾

私らしい生き方 & 資産の守り方の実践講座

豊かで充実したセカンドライフに向けて、2テーマの講座を開催します。自分自身や家庭のお金事情を見つめ直し、より豊かな生き方を実践してみましょう。

▷対象 市内に住む、おおむね60歳以上

▷定員 各30人(抽選制)

▷申込み・問合せ 各講座の申込締切日(必着)までに、申込フォームか往復はがき、メールに住所、氏名、年齢、電話番号、参加希望の講座を書いて、生涯学習課(〒630-0288、内線3740、☎kotobuki@city.ikoma.lg.jp)



▲申込みはこちら

■「私らしい生き方探求」実践講座

まだまだ長い人生を自分らしく充実した時間にするために、自分自身の価値観をもとに、今後のチャレンジプランを考えてみましょう。——連続講座です(右表参照)。いずれもコミュニティセンターで行います。

▷申込締切日 1月24日(水)



	とき	内容
第1回	2月7日(水) 10:00~12:00	認定NPO法人サービスグラントの堀久仁子さんによる「自分の『好き』を探してみよう」
第2回	2月15日(木) 10:00~12:30	市民活動推進センターららポート職員、市内で活躍するさまざまな活動者の皆さんによる「これからの『私らしい生き方』を見つけてみよう」

■「資産の守り方」実践講座

充実したセカンドライフを送るためには「お金」も必要です。家計の収支を考えながら、今ある資産をどれだけ長持ちさせるかも、たいせつになってきます。専門家と今後の「資産の守り方」について学びましょう。

▷とき・ところ 2月20日(火)10:00~11:30、たけまるホール

▷講師 ファイナンシャルプランナー、CFP®認定者の西田雅文さん

▷申込締切日 2月6日(火)

まちの交流会「つどい」vol.11

クリエイティブディレクターに学ぶ、視点の切り替え方

生駒に暮らす人がゆるやかにつながる、まちの交流会「つどい」。今回はクリエイティブディレクターの山阪佳彦さんに話を聞きます。広告など商業デザインに30年以上携わる山阪さんは、デザインの力で社会課題を解決することにも取り組んでいます。その傍ら、バス停に誰かが置いた椅子の写真を15年ほど撮影しています。「一見、何の魅力もない風景でも『人の営み』に思いをはせると、魅力に変わるかもしれません。視点を変えれば、思考や行動も変わるのです」と山阪さん。頭や心の凝りをほぐしながら、視点を変えるコツを探りましょう。聞き手は、いこまち宣伝部の中村京子さんです。

▷とき・ところ 1月27日(土)10:00～12:00、北コミュニティセンターISTAはばたき

▷定員 20人(抽選制、生後6か月～就学前の幼児の託児あり)

▷費用 無料

▷申込み・問合せ 1月16日(火)までに市ホームページの申込フォームから広報広聴課(内線4220)



▲詳しくはこちら



話し手：山阪佳彦さん

1961年、大阪生まれ。クリエイティブディレクター。企業・行政などのコミュニケーションデザインから地域・商品のブランディングまで活動は多岐に渡る。MAQ inc.所属、神戸市クリエイティブディレクター(2015～2018年)。グッドデザイン賞審査委員(2020～2022年)。

▷対象 市内に住むか市内へ通勤・通学している人

— イコマドとの共催です。

専門家の指導で、申告書に記入しながら、税制の基礎を学べる講座です。初めての人も安心して参加できます。

知識^{ゼロ}でも大丈夫！
確定申告セミナー

▷問合せ 同センター(☎77・7371)

▷費用 300円(子どもは100円、乳幼児は無料)

▷申込み・問合せ 1月25日(木)、2月22日(木)、3月21日(木)、10時～13時、人権文化セン

ター1(調理は10時・食事は11時30分から。食事だけの参加も可)

▷とき・ところ 1月25日(木)、2月22日(木)、3月21日(木)、10時～13時、人権文化セン

ター1(調理は10時・食事は11時30分から。食事だけの参加も可)

▷費用 300円(子どもは100円、乳幼児は無料)

▷申込み・問合せ 1月25日(木)、2月22日(木)、3月21日(木)、10時～13時、人権文化セン

ター1(調理は10時・食事は11時30分から。食事だけの参加も可)

▷費用 300円(子どもは100円、乳幼児は無料)

▷申込み・問合せ 1月25日(木)、2月22日(木)、3月21日(木)、10時～13時、人権文化セン

▷とき・ところ 1月26日(金)9時30分～11時30分、イコマド

▷必要品 筆記用具、電卓

▷定員 10人程度(申込順)

▷費用 無料

▷申込み・問合せ 1月6日(土)から市ホームページの専用申込フォームから男女共同参加プラ

ザ(☎75・0237)

▷申込み・問合せ 1月6日(土)から市ホームページの専用申込フォームから男女共同参加プラ

ザ(☎75・0237)

▷申込み・問合せ 1月6日(土)から市ホームページの専用申込フォームから男女共同参加プラ

ザ(☎75・0237)

▷申込み・問合せ 1月6日(土)から市ホームページの専用申込フォームから男女共同参加プラ

ザ(☎75・0237)

▷申込み・問合せ 1月6日(土)から市ホームページの専用申込フォームから男女共同参加プラ

ザ(☎75・0237)

▷申込み・問合せ 1月6日(土)から市ホームページの専用申込フォームから男女共同参加プラ

ザ(☎75・0237)



講師は公認会計士・税理士の辰巳大樹さん

催し・講座



生駒駅南口のまちづくり勉強会「イコミナラボ」

▽とき・ところ・内容

①1月29日(月)18時30分～20時

：神戸市三宮の東遊園地リ

ニユールのための社会実

験などを数多く手がける(有

リバーワークスの村上豪英

さんから、公園や公共施設の

利活用事例を学びます。

②2月27日(火)18時30分～20時

：大阪府大東市で行政と連

携して公営住宅や民間賃貸

住宅、生活利便施設などが

一体となったまちづくり

を取り組んだ(株)コーミンの

入江智子さんから、公民連携

の有効性を学びます。

— いずれもコミュニティセ

ンターで開催します。1日だけ

の受講も可能です。

▷定員 各30人(申込順)

▷費用 無料

▷申込み・問合せ 1月12日

(金)から、市ホームページの申

込フォーム

か電話、ファ

クスで住所、



▲詳しくはこちら

氏名、年齢、連絡先を明らかに

にして、拠点形成課(内線

3810、☎74・9100)

レッツ・エンジョイ・

イングリッシュ

ネイティブの先生と歌やゲ

ームで英語を楽しく学びます。

▷対象 市内に住む年中～年

長児に当たる幼児(要保護

者同伴)

▷とき・ところ 2月7日(水)

13時30分～14時30分、小平

尾南児童館

▷定員 15人(申込順)

▷費用 無料

全7回伊勢本街道から 初瀬街道を歩くハイキング

江戸時代におかげ参りに
ぎわった伊勢本街道は、本市の
暗峠を通過していました。その古
道を、大阪玉造稻荷神社から
三重県境まで7回に分けて歩
くシリーズ・ハイキング。前半
3回を歩く人を募集します(全
3回参加できる人を優先。後
半4回は前半の参加者を優先
し3月に募集します)。

▽とき・ところ

- ◇第1回「玉造稻荷神社」枚
岡神社(16km)：2月20日
(火)8時50分生駒駅出発、16
時30分頃枚岡神社解散
- ◇第2回「枚岡神社」南生駒
(7km)：3月19日(火)
- ◇第3回「南生駒」近鉄奈良
駅(13km)：4月16日(火)

——集合場所などは実施1
週間前に郵便で連絡します。

▽必要用品 健康保険証、飲み
物

▽定員 20人(抽選制)

▽費用 無料(交通費などは
別途実費)

▽申込み・問合せ 1月31日
(水)(必着)までに、申込フ

ォームか、はがきに参加者全

員の住所・氏名・年齢・当日
連絡のとれる電話番号を書
いて、商工観光課観光振
興室「各コース名」係(〒6
30-0228
8、内線23
1)



▲申込みは
こちら

生駒の酒造巡りハイキング

▽定員 各30人(抽選制)

▽申込み・問合せ 各申込締
切日(必着)までに、申込フ

ォームか、はがきに参加者全
員の住所・氏名・年齢・当日

連絡のとれる電話番号を書
いて、商工観光課観光振興
室「各コース名」係(〒63
0-0228、
内線231
1)



▲申込みは
こちら

2024年新春酒蔵巡り

「菊司醸造」で新酒を堪能し
ましょう

往馬大社・竹林寺・観泉
寺・菊司醸造をハイキングし
ます。菊司醸造では試飲や買
い物ができます(約5km)。

▽とき・ところ 2月8日(木)
13時菜畑駅出発、16時南生

駒駅解散

▽費用 無料

▽申込締切日 1月25日(木)

地域共生社会推進 フォーラム

住み慣れたところで、その人らしく暮らし続
けられるために、地域リハビリテーションの推
進と地域共生社会の実現について考えます。

◇第一部…本市特命監の田中明美による「生
駒市の現状について」

◇第二部…(一社)日本リ
ハビリテーション病院・
施設協会会長の齊藤正
身さんによる「期待され
る地域リハビリテーシ
ョン活動とは?～誰も
が安心して暮らし続け
られる地域づくり～」



齊藤正身さん

▷とき・ところ 2月1日(木)13:30～16:00
(開場は13:00)、北コミュニティセンター
ISTAはばたき

——公共交通機関を利用してください。

▷定員 450人

▷費用 無料

▷申込み・問合せ 1月20日(土)までに電話か
ファクスで、住所・氏名・ふりがな、電話番
号を明らかにして、(医)あすか会総務部(☎
0742-44-3300、FAX 0742-44-2100)
——ファクスの場合は、地域包括ケア推進
課や市内公共施設、地域包括支援センター
で配布する申込書を送付してください。

生駒の酒蔵巡り

「中本酒造店」を訪ねる

宮大工が選ぶ神社仏閣で全
国6位に選ばれた、中世建築
の傑作国宝長弓寺の本堂と3
塔頭寺院を見学。その後は中
本酒造店で、世界各国で評価
される「長屋王」などを試飲し
ましょう(約4km)。

▽とき・ところ 2月19日(月)
13時学研北生駒駅出発、16

時中本酒造店解散

▽費用 300円(拝観料)

▽申込締切日 1月30日(火)

上田酒造を訪ねる

生駒谷の氏神である往馬大
社や行基・忍性の眠る竹林寺
を訪ねます。その後は老舗上田

酒造で試飲しましょう(約4
km)。

▽とき・ところ 2月22日(木)
13時菜畑駅出発、15時30分

上田酒造解散

▽費用 無料

▽申込締切日 2月5日(月)

真冬の宝山寺参道は温かい

冬の宝山寺参道で身も心も
暖かくなるイベントを開催し
ます。市内初の駅構内コンサ

ート「駅コント」でラテンやゴス
ペルをお楽しみください。奈良・

生駒ゆかりのドキュメンタリ

ー映画もテア

トルアジトで上



▲詳しくは
こちら



「駅コント」に出演する
オフロッソの皆さん

高校生によるお茶席や宝山寺
みそこんにやくのふるまい、冬
の着物遊び、参道各店舗では
熱々メニューも提供します。

▽とき・ところ 2月10日(土)
10時～18時頃、宝山寺駅、テ

アトルアジト、宝山寺参道

各店舗など

▽問合せ 城山旅館(☎73・4
717)

生駒市史関連講演会

文化遺産は語る 生駒の中世 ～鷹山家文書・北田原城・竹林寺～

費用
無料

▷とき・ところ 2月17日(土)13:30～17:00頃(開場は13:00)、図書館

▷講演内容

- ①奈良芸術短期大学特任教授の前園実知雄さんによる「竹林寺の墓所から見た忍性の思想的背景」
 - ②天理大学文学部教授の天野忠幸さんによる「鷹山氏と戦国の大和」
 - ③近畿大学文芸学部准教授の新谷和之さんによる「畿内戦国史のなかの北田原城」
- 講演後は登壇者による座談会も行います。

▷定員 200人(申込順)

▷申込み 1月12日(金)～2月13日(火)に、市ホームページの申込フォームからか直接、市内5図書館・室 申込みはこちら▶



図書館北分館(☎71-3332)

交流会

3261) ム可)、年齢、電話番号、メールアドレス、相談希望者は書いて、人権施策課(内線



▲申込みはこちら

LGBTQなど、さまざまなセクシュアリティの人が気軽に集まって、日頃の悩みや思っていることの情報交換などができる交流会。家族やアライ(理解者・支援者)に関心のある人も歓迎です。



LGBTコミュニティの多様性を表す「レインボーフラッグ」

交流会「Rainbow 奈良
Cafe in 生駒」&個別相談会

▽費用 無料

▽申込み・問合せ 1月12日(金)～26日(金)に市ホームページの各申込フォームに、住所(市内か市外の区別だけでも可)、氏名(ニックネーム可)、年齢、電話番号、メールアドレス、相談希望者は書いて、人権施策課(内線

▽とき・ところ 1月28日(日)13時～15時、コミュニティセンター

性の多様性・個別相談会

LGBTQなど性の多様性や性的マイノリティの人が抱える不安や悩みについての相談に、当事者の相談員が応じます。

——個室での個別相談で、プライバシーは守られます。

▽対象 市内に住むか市内に通学・通学している人とその家族(年齢は問いません)

▽とき・ところ 1月28日(日)①15時から②15時30分から、コミュニティセンター

▽定員 2組(申込順)

第13回生駒市華道協会
いけばな展といけばな体験

同協会会員による展示会です(呈茶席)あり、300円。

▽とき・ところ 2月24日(土)25日(日)、10時～17時、芸術会館美楽来(25日は15時まで)

いけばな体験

▽とき 2月24日(土)①11時～12時②13時～14時

▽定員 各10人(申込順)

▽必要品 花ばさみ、雑巾、新聞紙

▽費用 無料

▽申込み・問合せ 1月15日(月)～2月15日(木)に、往復はがきに住所、氏名、ふりがな、電話番号、希望時間(①か②)を書いて、同協会の大長香月さん(〒630-0134、あすか野北1-9-8、☎78-9094)

生駒民俗会の講座

同会会長の今木義法さんによる講座「神武天皇の聖蹟顕彰運動」。明治維新により誕生した新政府は政治の原点を「諸事神武天皇創業の始めに基づいて行う」と宣言。天皇即位2600年とされた昭和15年には各地にその遺業を讃えて顕彰碑が建立されました。その活動について学びます。

▽とき・ところ 1月21日(日)10時～12時、生駒ふるさとミュージアム

▽費用 500円(当日先着順)

▽問合せ 同会(☎050-3332・5626)

生駒の歴史と文化入門講座

生駒市文化財保護審議会会長の今木義法さんによる講座

「松永久秀と信貴山城」。再度織田信長に背くも、最後は名器の茶釜「平蜘蛛」と爆死したと伝えられる松永久秀の生涯と居城信貴山城について学びます。

▽とき・ところ 1月19日(金)14時～15時30分、生駒ふるさとミュージアム

▽定員 40人(申込順)

▽費用 500円(生駒歴史文化友の会会員は400円)

▽申込み・問合せ 1月12日(金)～18日(木)に氏名、電話番号を明らかにして電話かファクス、メール、直接、同ミュージアム(☎71-7751、☎71-7752、info@ikoma-museum.jp)

生駒市日本画協会第32回
日本画・水墨画「新春展」

同協会会員と一般の皆さんによる日本画や水墨画、墨彩画の作品展です。

▽とき・ところ 1月31日(水)～2月4日(日)、10時～17時(4日は15時まで)、芸術会館美楽来

▽費用 無料(申込不要)

▽問合せ 同協会事務局の山本さん(☎78-5458)

ボランティアはじめの一步

ボランティアの基礎知識や活動事例を学びます。家族や友人との参加も歓迎です(各回同じ内容)。

▽とき・ところ 1月22日(月) 15時～16時、2月22日(木) 10時～11時、3月22日(金) 10時～11時、市民活動推進センターらぽーと

▽必要品 筆記用具
▽費用 無料(要事前申込)
▽申込み・問合せ 各開催日の2日前までに市ホームページの申込フォームか電話、ファクスで住所・氏名・年齢、電話番号を明らかにして同センター(☎75・6000、FAX75・0151)

飛び出せ! 定年 地域はあなたを待っています

定年を迎えた人や定年を目前に、これからのことを考えている人向けの講座。本人だけでなく、家族・友人との参加も可能です。地域に飛び出すきっかけとして、ボランティアの基礎知識や活動事例を学びましょう(各回同じ内容)。

▽とき・ところ 1月20日(土)

10時～11時、2月24日(土) 15時～16時、3月2日(土) 10時～11時、市民活動推進センターらぽーと

▽必要品 筆記用具
▽費用 無料(要事前申込)
▽申込み・問合せ 各開催日の2日前までに市ホームページの申込フォームか電話、ファクスで住所・氏名・年齢、電話番号を明らかにして同センター(☎75・6000、FAX75・0151)

自然の中で親子で楽しもう! いこま山とむつと

生駒山の中で野外遊びや、たき木を集めて火を起こし、みんなで焼き芋や、みそ汁を作ります。

▽対象 未就園児と保護者

▽とき・ところ 1月15日(月) 29日(月)、10時～13時(集合は9時30分)、梅屋敷駅周辺

——詳しい場所は申込時に伝えます。
▽定員 各10組(申込順)
▽費用 一組2000円
▽申込み・問合せ メールに参加者全員の住所・氏名・連絡先、子どもの学年を書いて、NPO法人いこま山の子

市民みんなで創る音楽祭

生駒山麓太鼓 鼓手会演奏会～四季～



今年度の音楽祭のフィナーレを飾る生駒山麓太鼓鼓手会による演奏会です。今回のテーマは「生駒の四季」。四季折々の生駒の姿が演奏で表現され、ステージと会場とが一体となったフィナーレは圧巻です。郷土芸能である生駒山麓太鼓の勇壮で迫力あるパフォーマンスをぜひお楽しみください。

▷とき・ところ 3月10日(日)16:00開演(開場は15:15)、北コミュニティセンターISTAはばたき——公共交通機関を利用してください。

▷定員 450人(予定)

▷費用 1,000円(高校生以下は無料・要入場整理券)

——チケット・入場整理券(全席自由席)は、1月20日(土)10:00から、たけまるホール、北コミュニティセンターISTAはばたき、南コミュニティセンターせせらぎ、鹿ノ台ふれあいホール、図書館で販売・配布します。

▷問合せ 同会の林さん(☎080-1448-1221)



サンデーサウンド アークード

会の紀村さん(☎090・5137・6914、✉yama.noyoutien@gmail.com、電話は15時～18時)

日曜日のびっくり通りを盛り上げたい団体「皆サンデー生駒にいらっしやい計画」が企画する音楽イベントです。今回はアコースティックストーリーライブを行います。
▽とき・ところ 2月4日(日) 11時～15時、生駒お惣菜キッチン「てん天」前(元町)

▽費用 無料

▽問合せ 同団体の高谷さん(☎75・7400、火曜・金曜日の9時～20時)

シアター生駒「蜜柑とユウウツ」茨木のり子異聞

詩人・茨木のり子の生涯が題材の作品を、市民劇団「シアター生駒」が、同劇団25周年記念として上演します。のり子が遺した「キガカリ」とは。脚本は、連続テレビ小説「らんまん」の脚本も務めた長田育恵さんです。

▽とき・ところ 2月23日(祝) ①11時から②15時から、2月24日(土)③11時から④15時から、南コミュニティセンターせせらぎ

時から、南コミュニティセンターせせらぎ

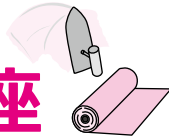
▽定員 各300人(申込順)
▽費用 2000円(入場券は南コミュニティセンターせせらぎ、北コミュニティセンターISTAはばたき、図書館で販売・配布します)

▽申込み・問合せ 専用フォームか電話で、氏名、人数、連絡先・希望の公演(①～④)を明らかにして、同団の高谷さん(☎090・7107・3973、✉theaterikoma@yahoo.co.jp)



▲申込みはこちら

プロに学ぶ 親子でDIY講座



いこま空き家流通促進プラットフォームの職人・建築士に教わりながら、大人はクロス貼りと壁塗り、子どもは木製レターケース作りにチャレンジ。体験後は、あなたの家のDIYや改修の悩みも相談できます。

——未就学児向けに、端材と木工ボンドを使って工作体験ができるコーナーもあります。

▽とき・ところ 2月18日(日)13:00～16:00、南コミュニティセンターせせらぎ

▽必要品 軍手、汚れてもいい服装など
——詳細は参加者に別途連絡します。

▽定員 40人(大人20人、子ども20人。抽選制)
——親子での参加限定です。

▽費用 大人2,000円、子ども500円

▽申込み・問合せ 2月4日(日)までに申込フォームから住宅政策室(内線3360)



▲申込みはこちら

チエーンソー講習会

ホームセンターでも気軽に購入できるチエーンソー。しかし扱い方を誤ると、とても危険な道具です。扱い方の基礎を身に付けましょう。

▽とき・ところ 1月28日(日) 9時～16時、矢田山遊びの森こども交流館(大和郡山市矢田町)

▽定員 5人程度(抽選制)

▽費用 2,000円(保険料含む)

▽申込み・問合せ 1月25日(木)までに、電話で森づくり奈

良クラブの清原さん(☎090・3017・9634)

森で遊ぶ！ ぼうけんの森を作ろう

矢田丘陵の里山で地形や自然を使って遊びます。斜面に登る、木を伐る、秘密基地やベンチを作る、箆を編むなど自由に楽しみましょう。

▽対象 小学生以上(小学生は要保護者同伴。大人だけの参加も歓迎)

▽とき・ところ 2月18日(日) 9時～13時、南田原町池田山林(集合は、おまつ宮(南

田原町)。雨天時は2月25日(日)に延期)

▽必要品 軍手、雨具、飲み物、軽食、お椀、箸、敷物

▽定員 30人(申込順)

▽費用 一人2,000円(保険料など全て含む)

▽申込み・問合せ 1月12日(金)からメールに参加者全員の住所・氏名・ふりがな・年齢・電話番号・メールアドレスを書いて、いこま里山クラブ代表の赤地さん(☎090・9160・7459、✉kizach@gmail.com)

ファミリーアウトドア教室

▽対象 子どもと保護者

▽ところ 生駒山麓公園野外活動センター

▽定員 各20人(申込順)

▽申込み・問合せ 1月12日(金)10時から電話で同園(☎73・8880)

——市外の方は3歳以上3,000円増し。費用には保険料など全て含まれます。

焚き火体験編

インストラクターが、たき火に必要な道具や薪割りの方法、薪の組み方をレクチャー。たき火を使った軽食もあります。

▽とき 2月3日(土)16時30分～18時30分

▽費用 大人2,800円、中学生以下2,300円、3歳未満2,000円

野鳥観察編

野鳥の見分け方や双眼鏡の使い方を学びます。園内で野鳥を観察し、特徴を図鑑と照らし合わせましょう。

▽とき 2月11日(日)10時～11時30分

▽費用 大人1,800円、中学生以下1,100円、3歳未満2,000円

子どものやる気を 引き出す親の関わり方

子育てサポーターとして活躍する元小学校教諭の中村智子さんから、アドラー流コーチングを基本にした子育てを学びます。「●●しなさい!」ではなく、子どもが「やってみよう!」と思えるような親の関わり方について考えます。



中村智子さん

方について考えます。
▽とき・ところ 1月23日(火) 10時～11時30分、市民活動推進センターらぽーと

▽定員 15人(申込順)

▽費用 無料

▽申込み・問合せ 1月12日(金)から市ホームページの申込フォームか電話、ファクスで住所・氏名、年齢、電話番号を明らかにして同センター(☎75・6000、☎75・0151)

RAKU-RAKUはつす うたごえ脳トレひろば

先生の歌声鑑賞やストレッチ、脳トレ発声など、歌を楽しむながら口腔機能の向上と脳のトレーニングをしましょう。

▽対象 市内に住む、おおむね60歳以上

▽とき・ところ 1月26日(金) 13時30分～14時30分、RAKU-RAKUはつす

▽必要品 膝掛け、動きやすい靴、タオル、飲み物

▽定員 30人(申込順)

▽費用 無料

▽申込み・問合せ 1月12日(金)から電話か直接、同館(☎73・8778、10時～16時)

第17回育児サークル体験会

市内で活動する育児サークルの紹介や絵本の読み聞かせ、手遊びなどの体験会。気軽に参加してください。



▲詳しくはこちら

▽とき・ところ 2月29日(木) 10時～11時30分、コミュニティセンター

▽定員 親子20組(申込順)

—— 託児はありません。プレママ(妊婦)も参加できます。

▽費用 無料

▽申込み・問合せ 1月12日(金)から、いこま育児ネットホームページの申込フォーム

かメールに参加者の氏名、子どもの名前・年齢、住所(町名まで)、連絡先を書いて、いこま育児ネットの清水さん(☎090・4495・3841、✉ikomaikujinet@gmail.com、電話は平日9時～13時)

親子でバレンタイン アイシングクッキー講座

JSAアイシングクッキーマスター講師が、キャラクターやグズ型に焼いたクッキーに、甘いアイシングクリームで



バレンタイン用にぴったりです

第15回 らら♪まつり

市内で活動する公益活動団体91団体(子育て支援・環境保全・まちづくり・高齢者支援・障がい者支援)が、さまざまなブースを出展します。帰ってきた「らら♪まつり」は、対面で人と人がつながるボランティアを体験できるおまつりです。



▷とき・ところ 2月4日(日)10:00～14:30、北コミュニティセンターISTAはばたき(入場無料・プログラムは一部有料)



▲詳しくはこちら

たくさんのコーナーを回って 生駒で活躍するボランティアと交流しよう

■飲食コーナー

ピロシキや炊込みご飯、カレー、たこせんなどの飲食ブースが「屋台村」に集結します。

■フリーマーケット

家庭用品や手作り雑貨、子ども服、文房具など、掘り出し物に出会えるかもしれません。

■ステージ

参加団体がダンス、カンフー、手話コーラスなど日頃の活動を披露します。

■講座

SDGsや防災、健康などについて、楽しく学べる講座が盛りだくさんです。

■体験コーナー

子どもも大人も楽しめるメニューを体験して、自分のやってみたいことを見つけましょう。

■謎解きにチャレンジ

会場内に散りばめられた謎を解きます。謎が解けたら参加賞がもらえます。

■コラボ企画

友好都市福井県敦賀市の子どもたちがダンスパフォーマンスでオープニングを飾ります。市内北地区で採れたての野菜市もやってきます。

閩市民活動推進センターららポート(☎75-6000)

▽費用 3650円

▽申込み・問合せ 1月23日(火)～28日(日)に申込フォーム

かファクスに郵便番号、住所氏名、電話番号、メールアドレス、講座名を書いて、同センター(☎77・0001、✉77・0002) ▲申込みはこちら



▲申込みはこちら

消費生活講演会

講演会「迷惑メール返事をしたらこうなった。」最新の悪質商法、詐欺の手法について。あらゆる詐欺・悪質商法の手口や、闇名簿・闇バイト事情に精通しているジャーナリストの多田文明さんが、最新の手口につ

▽定員 200人(当日先着順)

—— 公共交通機関を利用してください。



多田文明さん

▽費用 無料

▽問合せ 消費生活センター(☎72・1100)

こころぽかぽか 絵の本ひろば

絵本だけでなく写真本や料理本など、さまざまな本を誰でも自由に楽しめます。本をきっかけに、小さな交流が始まるかもしれません。

▽とき・ところ 1月20日(土) 21日(日)、11時～16時、近鉄百貨店生駒店6階1スクエア

▽費用 無料

▽問合せ 訪問看護ステーションCOCO+(☎85・4744)

未来ひろがる学びの場 /

アイスクール
ischool

小児科医に聞く 子どもの急病対応

さまざまな病気がはやるこの季節。突然やってくる子どもの体調不良に備えて「たかだこどもクリニック」の院長から、子どもの急病時の受診目安や家庭でできる対応を教わりませんか。先生に直接質問ができる時間や、みんなで対話する時間もあるので、疑問や不安を解消することができます。

——NPO法人「生駒の地域医療を育てる会」、地域医療課との共催です。

▽とき・ところ 1月27日(土)14:00～15:30、コミュニティセンター

▽定員 30人程度(抽選制)

▽費用 無料

▽申込み・問合せ 1月21日(日)までに市ホームページの申込フォームから生涯学習課(内線3710)



▲詳しくはこちら

講師プロフィール / 高田慶広さん

日本小児科学会認定小児科専門医。長年小児医療の現場に従事し、日本外来小児科学会理事や生駒市医師会理事など務める。「みんなで子育てをしていける地域でのもうひとつの家」となることを目指し、2011年、市内に「たかだこどもクリニック」を開院。



上手な気持ちの伝え方
アサーティブ講座

アサーティブとは自分も相手もたいせつにした自己主張のこと。講師歴19年の鈴木早苗さんを迎え、どんな自分でも肯定しながら生きるコミュニケーションを体験型で学び、人間関係を軽やかに生きる土台を手に入れましょう。

▽対象 中学生以上

▽とき・ところ 1月27日(土)13時30分～16時30分(開場は13時)、南コミュニティセンターせせらぎ

▽定員 30人(申込順)

▽費用 大人3300円、中

学・高校生2800円

▽申込み・問合せ 1月26日(金)までに申込フォームかメ

ールに住所、氏名、年齢、電話番号、講演名、大人が中学・高校生、懇親会参加(別途費用が必要)の有無を書いて、笑顔のおまじない企画の蛸谷さん(☎080・1503・0080)へ申込みはこちら



鈴木早苗さん

自主学習グループ

歩く・学ぶ・見る・集う

西の京歴史・再発見をテーマにしたハイキングです。

▽とき・ところ 2月9日(金)9時20分～15時30分、尼ヶ辻駅改札集合

▽必要品 昼食、雨具、健康保険証、敷物、飲み物

▽定員 15人(申込順)

▽費用 500円(別途拝観料が必要)

5' negaomakikaku@gmail.com

▽申込み・問合せ 1月12日(金)31日(水)(必着)に、往復はがきか電話で、住所、氏名、年齢、連絡先を明らかにして、あゆみの会の真鍋雄三さん(〒630-0226、小平尾町236-9、☎77・6911)

楽しい英会話教室体験会

ネイティブの英語講師による中級実践英会話教室です。

▽とき・ところ 1月26日(金)17時～19時、芸術会館音楽来

▽必要品 筆記用具、辞書

▽定員 15人(申込順)

▽費用 無料

▽申込み・問合せ 1月11日(木)26日(金)にメールでIKOMAE.S.S.の田中さん(☎090・6550・1116、norman@kc.ne.jp)

ぼちぼちオールスターズ

新春から関西で活躍のバンドが楽しく歌い演奏します。

▽とき・ところ ①1月13日(土)11時～16時②21日(日)13時～16時、鹿ノ台ふれあいホール

▽定員 各100人(申込不

社交ダンスを始めましょう

人生が楽しくなり元気に生活できます。

▽とき・ところ 1月27日(土)10時～11時30分、図書会館

▽必要品 ダンスシューズか運動靴、飲み物

▽定員 15人(申込不要)

▽費用 無料

▽問合せ さくらんぼの吉田さん(☎090・8148・9478)

ストレス解消健康カラオケ

懐かしい演歌や民謡童謡などを楽しく歌いましょう。

▽とき・ところ 2月3日(土)13時～17時、東旭ヶ丘

——詳しい場所は問い合わせてください。

▽必要品 筆記用具

▽定員 15人(申込不要)

▽費用 無料

▽問合せ 歌の道・ハートの会の玉井さん(☎74・8440)

社交ダンス無料体験講習会

体験に来ませんか。最高の趣味になるかもしれません。

▽とき・ところ 1月27日(土) 12時25分～14時25分、南コミュニティセンターせせらぎ

▽必要品 ダンスシューズか運動靴

▽定員 15人(申込不要)

▽問合せ 社交ダンススリー ステップの葭谷さん(☎090・3929・3745)

鹿ノ台英語サロン公開講座

ネイティブの講師が英語を楽しく語ります。

▽とき・ところ 1月15日(月) 10時～12時、鹿ノ台いきいきホール

▽定員 25人(申込不要)

▽費用 無料

▽問合せ 鹿ノ台英語サロンの渡辺さん(☎090・3032・2987)

ジャズダンスを楽しもう

ストレッチ1時間とジャズダンス30分を楽しめます。

▽とき・ところ 2月10日(土) 10時～11時30分、北コミュニティ

ニテイセンターISTAはばたき

▽必要品 タオル、飲み物、上靴、ヨガマットかバスタオル

▽定員 15人(申込順)

▽費用 無料

▽申込み・問合せ 1月12日(金)～2月9日(金)に電話で、ぐるーぷE☆Zの國分さん(☎090・6554・2144)

募集



居合道の稽古をしてみませんか

古武道である無外流居合では、形の稽古を通して、体の動きや刀の扱い方を学びます。誰でも気軽に参加可能です。

▽対象 健康増進や体力づくりを目指す中学生以上

▽練習のとき・ところ 毎週水曜・金曜日の19時～21時、生駒市体育協会滝寺S.C.武道館

▽申込み・問合せ 随時、電話で日本居合道連盟生駒支部の田中さん(☎090・9099・8562)

——見学自由です。詳しくは同連盟ホームページをご覧ください。



▲詳しくはこちら

放送大学の学生を募集

BS放送やインターネットで福祉・経済・歴史・情報・心理学など、約300分野を学べる通信制大学です。全国に学習センターがあり、サークル活動などの交流もあります。

▽募集する学生 満15歳以上(大学卒業を目指す全科履修生だけ満18歳以上で大学入学資格のある人)

——入学試験はありません。

▽申込み 第1回は2月29日(木)まで、第2回は3月1日(金)～12日(火)17時に同大学ホームページから

▽資料請求・問合せ 同大学奈良学習センター(☎0742・207870)

生駒市社会福祉協議会専任手話通訳者の募集

▽対象 手話通訳士か手話通訳者全国統一試験合格者、都道府県で通訳者として登録している人

▽勤務形態 火曜・土曜日の

有効期限は1月31日(水)まで/

さきめしいこま^{プラス}プレミアムキャンペーン2023

支払金額の30%(プレミアム価格分)を上乗せした電子チケットを購入し、先払いで市内のお店を応援する同キャンペーンのチケット利用期限は1月31日(水)までです。



注意事項

- ◇1日でも過ぎると使えません。
- ◇店の閉店や休業、予約が取れないなどの事情であっても、チケットの返金・交換はできません。

▽問合せ さきめしいこま^{プラス}プレミアムキャンペーン事務局(☎0120-979-361、10:00～18:00)



▲詳しくはこちら

展示場所

- ①たけまるホール正面展示ケース(幅298cm×奥行98cm×高さ32cm)
- ②生駒駅けいはんな線構内展示ケース(幅180cm×奥行40cm×高さ90cm)
- ③たけまるホールロビー壁面(幅約800cm)

——実際のスペースを確認して申し込んでください。

▽申込み・問合せ たけまるホールで配布する申込書に必要事項を書いて直接、同ホール(☎75・0101)

——申込みはいずれも9時30分からです(①は2月1日(木)、②は2月2日(金)、③は2月3日(土)から)。開始までに複数団体が来ていた場合、申込順を決める抽選をします。

たけまるホールや生駒駅に作品を展示しませんか

▽対象 市内で活動する団体

▽とき 4月～令和7年3月の1か月単位

ダンスイベントの 出演者を募集

ダンスイベント「Join us Mix
Dance in Ikoma」の出演団体を募集します。

——ジャンルは問いません。

▽対象 おおむね小学生～青年層で構成され、事前説明会（開催日の2週間前を予定）に参加できる団体

▽とき・ところ 3月10日（日）12時～16時（時間は参加団体数で前後）、たけまるホール

▽定員 約25団体（抽選制。1団体2～50人、複数申込可）

▽費用 一人2000円

▽申込み・問合せ 1月29日（月）までにメールに団体名、人数、代表者の住所・氏名・

申請期限は2月29日（木）まで 子育て世帯 生活支援特別給付金

物価高騰の影響を受ける低所得の子育て世帯に支給している「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」。期限が迫っていますので、申請できていない人は、ゆとりを持って申請してください。

——複数回の受給や下記の両方は受給できません。詳しくは市ホームページを確認してください。

（問）こども総務課（内線2811）

■ひとり親世帯分

▷対象 所得が受給水準を超えていて令和5年3月の児童扶養手当を受給されていないが、物価高騰の影響で家計が急変し、令和5年1月以降の所得が同手当水準以下になった世帯など

■その他世帯分

▷対象 令和5年度住民税均等割が非課税か課税であるが、物価高騰の影響で家計が急変し、令和5年1月以降の所得が非課税と同様の事情が認められる人など

「ココロ」の健康を考える楽しいイベント。出店やステージ発表、あすか野小学校、プラスバンド部の演奏もあります。

▽とき・ところ 1月27日（土）13時～16時、コミュニティセンター

▽費用 無料

▽問合せ 地域活動支援センター コスモールいこま（☎73・0900、☎73・0907、電話は11時～18時）

健康・福祉



精神障がい者と家族の 無料相談会・仲間のサロン

▽対象 精神障がいがある人や家族

▽とき・ところ 1月31日（水）、市民活動推進センターらぽーと

▽費用 無料

「ココロ」の健康を考える楽しいイベント。出店やステージ発表、あすか野小学校、プラスバンド部の演奏もあります。

▽とき・ところ 1月27日（土）13時～16時、コミュニティセンター

▽費用 無料

▽問合せ 地域活動支援センター コスモールいこま（☎73・0900、☎73・0907、電話は11時～18時）

個別相談のとき・内容

とき	内容
2月6日（火）	①13:00～14:00 管理栄養士による食事のコントロールなど個別栄養相談
20日（火）	②14:00～15:00
	③15:00～16:00
3月1日（金）	13:30～15:00 健康運動指導士による運動指導（少人数制）

「関係なさそう」は危険です
慢性腎臓病予防講演会

奈良県立医科大学で地域医療学講座を担当する医師の赤井靖宏さんによる講演「腎臓は人生のパートナー！知って、守って、元気に長生き」―手話通訳・要約筆記あり―です。

▽対象 市内に住むか市内へ通勤・通学している人
▽とき・ところ 2月18日(日) 14時～15時30分、たけまるホール
▽定員 300人(申込順)
▽費用 無料

▽申込み・問合せ 1月12日(金)から代表者の氏名・電話番号、参加人数を明らかにして、市ホームページの同講演会専用申込フォームか電話、直接、健康課(☎75・1002) ▲申込みはこちら

福祉センターの短期教室

▽対象 市内に住む心身障がい者(国が指定する難病を含む)か60歳以上の人(令和6年1月1日現在)

――今年度に福祉センターが開く各種教室に未参加の

市税コーナー

1月は固定資産税・都市計画税第4期分
国民健康保険税第7期分の納付月
～納期限は1月31日(水)です～

確定申告の社会保険料控除のために国民健康保険
税納付資料が必要な人は問い合わせてください

昨年1～12月に納めた国民健康保険税は、確定申告の社会保険料控除の対象です。国民健康保険税の納税義務者は世帯主ですが、確定申告では実際に納付した人が申告できます。領収証書や口座引き落とし額・納税通知書などを参考に、申告書に記載してください。年金と違い証明書類の添付は不要です。

納付資料が必要な人は、国保医療課国保係に問い合わせてください。1月下旬以降に交付可能(予定)です。

▷問合せ 国保医療課国保係(内線7461)

――後期高齢者医療保険料は、同課福祉医療係(内線7471)に問い合わせてください。

事業用資産を所有している人は
固定資産税(償却資産)の申告が必要です

市内で工場や商店などを経営していたり、駐車場やアパートを貸し付けたりしている個人や法人が、事業を営むために所有する構築物・機械・器具などの償却資産を所有する場合、固定資産税(償却資産)の申告が必要です。同資産を所有する人は、令和6年1月1日現在の所有状況を1月31日(水)までに申告してください。――必要書類など申告に関することは市ホームページで確認してください。

▷提出方法 直接課税課窓口か、郵送か電子申告(ELTAX)

▷問合せ 同課(内線7149)

税目	月		
	1	2	3
2段目は納期限の日、口座振替納付の振替日です。			
固定資産税 都市計画税	4期		
	1/31(水)		
国保税 (普通徴収)	7期	8期	9期
	1/31(水)	2/29(木)	4/1(月)

市税の納付は安心、便利な口座振替納付をご利用ください。

人を優先します。

▽ところ 同センター

▽申込み・問合せ 1月17日(水)までに、はがきか電話、フ

ァクス、メールで住所、氏名、ふりがな、生年月日、障害者

手帳の有無と種類・等級、難病名、電話番号、希望する教

室名を明らかにして、同セ

ンター(〒630-0221、さつき台2丁目6-1、☎73・

0700、FAX73・0294、fukusi-center@kc.n.jp)

お菓子教室

チョコレートケーキとパウ



一人2個作ります

▽とき 2月6日(火)13時～16時

――12時30分に生駒駅南口(東生駒駅は5分後)発の無

料バスを運行します。

▽定員 15人(抽選制)

▽費用 800円

▽アロマフラワーキャンドル教室

アロマオイルを入れた器に

プリザーブドフラワーを飾り付

ける

け、お花の置物を作ります。

▽とき 2月7日(水)13時30分～15時30分

――12時30分と13時に生駒駅南口(東生駒駅は5分後)発の無料バスを運行します。

▽定員 10人(抽選制)

▽費用 1500円

精神障がいのある人を支
える家族のための勉強会

▽対象 市内に住むか市内へ通勤・通学している精神障がい者を支える家族

▽とき・内容・ところ

◇1月17日(水)：精神疾患当事

者を支える家族の体験談や支援機関紹介、意見交換会

◇1月24日(水)：当事者の体験談と意見交換会(希望者には施設見学会も行います)

――いずれも市民活動推進センターからポートで行います。

▽定員 各15人(申込順)

▽費用 無料

▽申込み・問合せ 1月12日(金)から電話かファクスで、氏名、電話番号を明らかにして、地域活動支援センタ

ーコスモールいこま(☎73・0900、FAX73・0907、

電話は11時～18時)

新型コロナワクチンの 無料接種は3月31日(日)まで

重症化予防を目的に、XBB.1.5ワクチンを使用した「令和5年秋開始接種」を実施しています。令和6年3月末まで自己負担なしで接種できます。初回接種の場合は、3月末までに完了できるよう接種間隔に注意してください。

▷対象 生後6か月以上

▷接種期間 3月31日(日)まで

▷接種費用 無料(4月1日(月)以降は未定)

——4月以降は、原則65歳以上を対象にした年1回の定期接種(一部自己負担あり)が予定されています。詳細が決まり次第、市ホームページなどで随時お知らせします。

▷接種場所 市内クリニック、生駒市立病院(集団接種は終了しました)

▷接種券の発行

◇接種券が届いていないか紛失した場合は、市ホームページで電子申請するかコールセンターへ問い合わせてください。

——コールセンターは1月31日(水)で終了予定です。

◇「令和5年春開始接種」の接種券(水色)がある人は、それを使用してください。

生駒市新型コロナワクチンコールセンター
(☎0120-525-646、8:30~17:00、土曜・日曜日、祝日は受け付けていません)

高齢者の家事支援 訪問型 サービスA従事者研修

身体介護を伴わない買い物や掃除など、家事支援の仕事をするための研修です。介護保険制度や高齢者の特徴、生活援助などを学び、研修後は勤務に必要な修了書も発行します。

▽対象 市内に住む人(日中に時間がある人や退職後何かに取り組みたい人も歓迎)

▽とき・ところ 2月17日(土) 9時~17時、セイセイビル

▽定員 20人(申込順)

▽費用 無料

▽申込み・問合せ 1月9日(火)~2月9日(金)に、電話か

直接、生駒市社会福祉協議会(☎75・0234)

介護予防教室 お口の健康

「お口の健康」をテーマに、歯科衛生士からケアの方法や嚥下について学びます。

▽対象 65歳以上の高齢者や家族、介護予防に関心のある人

▽とき・ところ 1月26日(金) 13時30分~15時30分、図書会館

▽定員 20人程度(申込順)

▽費用 無料

▽申込み・問合せ 電話で東生駒地域包括支援センター(☎75・3367)

お済みですか?がん検診

▽問合せ 健康課(☎75・1002)

■令和5年度がん検診の受診期限が迫っています

集団検診と個別検診は、受診方法が異なりますので注意してください。

——予約方法など詳しくは市ホームページで確認してください。集団検診は受付が終了している場合があります。

■個別のがん検診は令和6年2月29日(木)までに受診してください

▽受診方法 指定医療機関で事前に予約し、「令和5年度

乳がん無料クーポン対象者

年齢	生年月日
41歳	昭和57年4月2日 ~58年4月1日

子宮頸がん 無料クーポン対象者

年齢	生年月日
21歳	平成14年4月2日 ~15年4月1日

生駒市がん検診受診券」を持参し受診してください。

▽注意 大腸がん検診は2回分の便を2月29日(木)までに医療機関に提出できるように受診してください。

■がん検診無料クーポン券の有効期限は2月29日(木)まで

対象者には乳がん、子宮頸がん検診の無料クーポン券を、赤色の封筒で令和5年4月に郵送しています(右表参照)。

▽必要品 各種無料クーポン券、令和5年度生駒市がん検診受診券

お知らせ



1月10日は「110番の日」

事件・事故など、緊急の対応が必要な場合は、ためらわずに「110番」に通報してください

い。生活の安全に関する不安や悩みなどは、警察相談専用電話「#9110」を利用してください。

▽問合せ 生駒警察署(☎74・0110)

あなたの一票で決まる 「市民推薦」職員表彰

本市では、功績があり、他の職員の模範となるような職員や部署を表彰しています。職場や地域で活躍する職員の取組から、一つを選んで投票してください。多くの票を得た取組を市民推薦賞として表彰します。

▽投票期間・場所 1月19日(金)~2月1日(木)、8時30分~17時15分、市役所1階(閉庁日は除く)

——市ホームページからも投票できます。

■職員表彰式の参加者を募集

▽とき・ところ 2月22日(木) 9時~10時、市役所4階大会議室

▽定員 20人(申込順)

▽申込み・問合せ 1月19日(金)~2月1日(木)に電話かメ

ールで住所、氏名を明らかにして、人事課(内線4261、jinji@city.ikoma.lg.jp)

意見を募集します

▽閲覧・募集期間 1月25日(木)まで

▽閲覧場所 市役所の市政情報コーナーや主な公共施設

▽意見の提出方法 意見を提出できる人や提出方法は、配布書類か市ホームページをご覧ください。

▽その他 意見の内容は、住所・氏名などを除き公表する場合があります。なお、個別の回答は行いません。

――第1期生駒市デジタル田園都市構想総合戦略(案)と生駒市行政改革大綱(案)は、第6次生駒市総合計画第2期基本計画(案)に集約し、一体化した計画として推進します。

第6次生駒市総合計画第2期基本計画(案)

計画的なまちづくりを進めるための中長期的なビジョンである総合計画の第2期基本



≡ 2月のし尿くみ取り予定表 ≡

圏環境保全課(内線2362)

とき	1 班	2 班
1日(木)	傍示	小平尾町、東山町
2日(金)		小平尾町
3日(土)	庄田	小瀬町
5日(月)		萩の台、萩原町
6日(火)	大北、庄田	萩原町
7日(水)	大北	大門町、萩原町、藤尾町
8日(木)	大北、久保	鬼取町、大門町
9日(金)	久保	鬼取町、菜畑町、西畑町
10日(土)	久保、宮方	有里町、菜畑町、西畑町
13日(火)	宮方	有里町
14日(水)		
15日(木)	上町、芝	有里町、壱分町
16日(金)	芝	壱分町
17日(土)	北田原町、鹿畑町	西菜畑町
19日(月)	北田原町、南田原町	中菜畑2丁目、東生駒1丁目、東菜畑1・2丁目
20日(火)	南田原町	軽井沢町、新旭ヶ丘、西旭ヶ丘、東旭ヶ丘
21日(水)	南田原町、小明日、松美台	辻町、西旭ヶ丘、山崎町
22日(木)	桜ヶ丘、俵口町	谷田町、辻町、山崎町
24日(土)	俵口町、東松ヶ丘	谷田町、辻町、本町、元町1・2丁目
26日(月)	西松ヶ丘、東松ヶ丘	谷田町、仲之町、東新町
27日(火)	喜里が丘、西松ヶ丘、門前町	北新町、門前町、山崎新町
28日(水)		
29日(木)	門前町	北新町、門前町

◇12月くみ取り分手数料の口座引き落とし日は1月31日(水)です。

◇浄化槽のくみ取り予定表ではありません。7:00から順次くみ取ります(人数変更や新規開始・中止時は要申請)。

計画の案を総合計画審議会で取りまとめました。

なお、国がデジタル田園都市国家構想総合戦略を策定したことに伴い、第2期生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略を第1期生駒市デジタル田園都市構想総合戦略に改定。第2期基本計画(案)の戦略的施策として位置付けます。

▽問合せ 企画政策課(内線4160)

生駒市行政改革大綱の見直し(案)

財政状況や生活様式の変化などに対応し、より効果的に行政改革の取組を進めるため、行政改革推進委員会で見直し案を取りまとめました。

▽問合せ 行政経営課(内線4310)

重要土地等調査法に基づく区域を指定

市内の一部区域が「注視区域」に指定されます。施行後は、区域内の土地・建物で防衛関係施設などの機能を阻害する行為が行われていないか内閣府が調査します。

――区域図など詳しくは、内閣府ホームページを確認してください。



▽注視区域 生駒無線中継所(生駒山上北部)を中心とした周囲おおむね1000mの区域

▽問合せ 内閣府重要土地等調査法コールセンター(☎0570・001・125、平日9時30分～17時30分)

行政功勞表彰
おめでとございます

長年にわたり、農業委員会の委員や農地利用最適化推進委員として農業の振興に多大な貢献をされた功績を讃え、行政功勞表彰を授与しました。

- ◇中本眞人さん
- ◇染岡政明さん
- ◇西口まゆりさん
- ◇山本利昭さん
- ◇山田義美さん
- ◇池田憲央さん
- ◇北村由子さん



小紫市長と受賞者の皆さん

- ◇中谷佳津代さん
- ◇平尾正隆さん
- ◇北本光美さん
- ◇中尾正人さん
- ◇井山茂さん
- ◇高枝敏治さん

▽問合せ 秘書課(内線4061)

ネット・スマホの活用で便利に

確定申告は

期限内に



▽申告期間 2月16日(金)～3月15日(金)

◇税務署の確定申告会場は2月16日(金)から開設します(土曜・日曜日、祝日を除く)。

◇2月25日(日)は相談・申告の受付を行います。

◇相談の受付は8時30分～16時に行いますが、混雑緩和のため、会場で配付する「入場整理券」が必要です(配付状況に応じて早めに受付を終了する場合あり)。

◇オンライン事前発行(LEIN E)で来場希望日時を事前に登録すれば、入場整理券は不要です。



▲詳しくはこちら

◇還付申告は2月16日(金)以前も、e-Taxなどで提出できます。

▽必需品 筆記用具、計算機、マイナンバーカード(持って

いる人だけ)

▽申告のところ・問合せ 奈良税務署(奈良市登大路町、☎0742-26-1201)

——公共交通機関を利用してください。

確定申告書の作成・提出はより便利になったスマートフォン・インターネットから

国税庁ホームページから、所得などの申告書を作成し、マイナンバーカードを使用すると、オンラインで提出できます。



▲詳しくはこちら

マイナポータル連携を利用すると、一部必要書類のデータを申告書の該当項目に自動入力できます。



▲詳しくはこちら

——マイナンバーカード読取対応のスマートフォンかICカー

ドリーグライトが必要です。

◇税務署では、内部事務効率化を実施しています。そのため、郵送で申告書を送付する場合は、「大阪国税局業務センター 阪神分室(奈良税務署担当)」(〒661-8524、兵庫県尼崎市若王寺3丁目11-46)に提出してください。

◇所得税や消費税の確定申告に関する税務相談チャットボットも活用してください(消費税は2月上旬スタート)。



▲利用はこちら

確定申告の注意事項

■給与所得者で給与所得以外にも所得がある人(確定申告をする人)

◇不動産や配当など給与以外の所得に係る市・県民税を自分で納付したい場合は、確定申告書第二表の徴収方法は「自分で納付」を選んでください。未選択は、給与からの特別徴収になります。

◇令和6年4月1日時点で65歳以上の人の年金所得の市・県民税は、給与からの特別徴収にはなりません。

相談無料
申込不要

税務署以外の 確定申告の相談会場

▷とき・ところ 2月2日(金)～9日(金)の9:30～16:00(開館は9:00、土曜・日曜日を除く)、奈良県立図書情報館(奈良市大安寺西)

▷注意

◇相談受付の終了時刻は15:00です(2月9日(金)は14:00)。

◇午前中は混雑します。状況により早めに受付を終了することがあります。

◇駐車場(約300台)は、1時間まで無料、以降1時間ごとに100円です。

◇土地・建物・株式などを売却した所得(上場株式などに係る譲渡損失の繰越控除を含む)や相続税、贈与税に関する相談は行いません。

▷問合せ 奈良税務署(☎0742-26-1201)

■公的年金を受給している人

◇公的年金などの収入金額が400万円以下で、その年の公的年金などに係る雑所得以外の所得(給与、営業、不動産、配当など)が20万円以下の場合は所得税の還付を受ける場合を除き、確定申告は不要です。

◇確定申告をしない場合でも、その他の所得があるときや各種控除の適用を受けるときは、市・県民税の申告が必要です。

——確定申告をしたときは、市・県民税の申告は不要です。

■ふるさと納税(寄附金控除)を行った人

ワンストップ特例の適用に関する申請書を提出しても、控

除を受けるなどで確定申告する場合、ふるさと納税を行った全ての金額を寄附金控除の計算に含めて申告が必要です。その場合は、確定申告書第二表の「住民税・事業税に関する事項」の寄附額の欄にも記載してください。

期間内であれば市役所への提出も受け付けます

2月16日(金)～3月15日(金)の平日に、作成済みの申告書を市役所課税課に持参すると、税務署へ取り次ぎます(混雑緩和のため、できるだけ郵送してください)。

——書き方などの相談は受け付けません(税務署と市役所の受付印は押印不可)。

市・県民税の

申告は市役所へ



「申告が必要な人」に該当する人は、必ず申告をしてください。なお、所得証明書など取得するときに申告が必要となる場合があります。

▽申告のとき 2月16日(金)～3月15日(金)(閉庁日を除く)、8時30分～17時15分

▽申告のところ・問合せ 課税課(市役所1階13番窓口、

内線7120)

——新型コロナウイルス感染症などの感染拡大防止と混雑緩和のため、郵送での提出に協力をお願いします(〒630-0288、同課)。

申告が必要な人

■令和6年1月1日現在、本市に住み、次の①～⑤のいずれかに該当する人

れかに該当する人

① 令和5年中に営業・農業・その他の事業・不動産・配当などの所得があった人

② 給与所得者で次に該当する人

◇ 給与以外に不動産の貸付、報酬、配当などの所得があった人

—— 所得税では、給与所得者で給与以外の所得が20万円以下の人は確定申告の必要はありませんが、市・県民税は申告が必要です。

◇ 勤務先から市役所へ給与支払報告書が提出されていない人

③ 控除対象配偶者・扶養・事業専従者になっていない人

—— 本市に住んでいない人の扶養になっている人も申告してください。

④ 令和5年中の所得が公的年金だけで、社会保険料などの控除を受けようとする人

⑤ 令和5年中に収入がなく、マ



所得証明書の自動交付利用者も申告が必要です

イナンバーカードや住基カードで所得証明書を発行する人

■ 令和6年1月1日現在、本市に住んでいないが、市内に事業所が家屋敷のある人

次の人は申告不要です

① 所得税の確定申告をする人

② 令和5年中に収入がなく、市内に住んでいる親族の扶養になっている人

③ 令和5年中の収入が給与収入だけで勤務先から生駒市役所へ給与支払報告書が提出されている人

④ 公的年金だけの収入で、天引きされている以外の社会保険料控除などの控除を受けない人

申告に必要なもの

◇ 給与・年金などの源泉徴収票

◇ マイナンバーカードか個人番号通知と本人確認書類(運転免許証など、郵送の場合は写し)

◇ 令和5年中の医療費明細書・国民年金・生命保険料・地震保険料・寄附金などの控除を証明する書類

◇ 令和5年中の国民健康保険・

後期高齢者医療保険・介護保険の支払額が分かる書類

◇ 給与・公的年金受給者以外の人は収入金額や必要経費の分かる書類

◇ 申告書

市・県民税の申告書は自宅でも作成できます

市・県民税の申告書は次のいずれかの方法で作成してください。

◇ 前年中の実績に基づいて、例年1月下旬に送付する申告書に記入する

◇ 市ホームページから申告書を作成する(電子メールでは提出できません。市ホームページでは、ふるさと納税の上限目安額の試算もできるので、利用してください)

—— 申告が必要な人で、いずれの方法でも申告書を作れない場合は、課税課まで問い合わせてください。



市ホームページでは作成途中の申告書を保存できます

子育てひろば・健診・講習会

- ⚠ 家族の中に発熱、下痢、嘔吐、発疹^{はっしん}などの症状があれば参加を控えてください。
- ⚠ 感染症や社会情勢によっては、締切後、定員を見直す場合があります。

ひろば



| 問合せ | 子育て支援総合センター(☎0743-73-5582)

| 申込み | 各ひろばの申込締切日までに市ホームページの申込フォームから



子育てサロン

保護者同士で自由に話せます。子育て相談や体重測定もできます(もぐもぐサロンは、離乳食相談もあり)。

びよびよサロン

- ・対象 市内に住む0～4か月頃の乳児と保護者
- ・とき・ところ 2月21日(木)13:30～15:00、同センター
- ・定員 15組(抽選制)
- ・申込締切日 2月4日(日)

もぐもぐサロン

- ・対象 市内に住む5～8か月頃の乳児と保護者
- ・とき・ところ 2月28日(木)13:30～15:00、同センター
- ・定員 15組(抽選制)
- ・申込締切日 2月12日(祝)

もこもこサロン

- ・対象 市内に住む7～12か月頃の乳児と保護者
- ・とき・ところ 2月13日(木)13:30～15:00、同センター
- ・定員 15組(抽選制)
- ・申込締切日 1月28日(日)

サンデーひろば

園庭や室内で遊具や、おもちゃを使って自由に遊べます。保健師に子育て相談もできます。

- ・対象 市内に住む就学前の子ども(幼稚園・保育園・こども園に通う園児も参加可)と保護者
- ・とき・ところ 2月4日(日)9:30～11:30、中保育園
——当日の問合せは同園(☎74-5570)です。
- ・定員 なし(安全のため入場制限する場合があります)



親と子のあそび

親子で楽しめる、ふれあいあそびや製作あそびを通して、子どもの心と身体の発達を促します。

ぱんだ

- ・対象 市内に住む令和2年4月2日～令和3年4月1日に生まれた子どもと保護者(3歳児以上の未就園児も参加可)
- ・とき・ところ 3月5日(木)10:00～11:00、コミュニティセンター
- ・定員 20組(抽選制。生後4か月から対象児のきょうだいの託児あり、要申込)
- ・申込締切日 2月12日(祝)

うさぎ

- ・対象 市内に住む令和3年4月2日～令和4年4月1日に生まれた子どもと保護者
- ・とき・ところ 2月20日(木)10:00～11:00、同センター
- ・定員 15組(抽選制、生後4か月から対象児のきょうだいの託児あり、要申込)
- ・申込締切日 1月28日(日)

えほんのひろば

図書館司書による絵本の読み聞かせや手遊びなどが楽しめます。新たな絵本に出会えるチャンスです。

- ・対象 市内に住む3歳までの子どもと保護者
- ・とき・ところ 2月7日(木)10:00～10:45、同センター
- ・定員 15組(抽選制)
- ・申込締切日 1月21日(日)

パパひろば

父親同士で交流し、子どもとの遊び方も学びます。

- ・対象 市内に住む0～2歳児の子ども一人と父親
- ・とき・ところ 2月25日(日)10:00～11:30、同センター
- ・定員 15組(抽選制)
- ・申込締切日 2月7日(木)

まなび



| 問合せ | 子育て支援総合センター(☎73-5582)

| 申込み | 各ひろばの申込締切日までに市ホームページの申込フォームから



親子の絆づくりプログラム

「赤ちゃんがきた！」

4回シリーズ

初めて子育てをする母親のための仲間づくりや親子の絆づくり、少し先を見通した育児の知識を参加者同士で学び合うプログラムです。

- ・対象 市内に住む令和5年9月1日～11月30日生まれの子

子どもと母親

- ・とき・ところ 2月19日(月)・26日(月)、3月4日(月)・11日(月)、13:30～15:30、同センター
- ・定員 16組(抽選制、最少催行5組)
- ・費用 無料(初回到別途テキスト代1,100円が必要)
- ・申込締切日 1月28日(日)

あそび



おでかけてく

ふれあい遊びと簡単な製作をしましょう。

- ・対象 市内に住む令和2年4月2日～令和3年4月1日に生まれた子どもと保護者
- ・とき・ところ 1月26日(金)10:00～11:30、地域子育て支援センターでく
- ・定員 6組(申込順)
- ・申込み・問合せ 1月19日(金)10:00から、申込フォームから、同センター(☎74-3999)——初めての人を優先します。



▲申込みはこちら

「ちどりであそぼ」の子育て講座

ひな飾りを作ろう。

- ・対象 市内に住む就学前の乳幼児と保護者
- ・とき・ところ 2月8日(木)10:00～11:00、いちぶちどり保育園
- ・定員 3～5組(申込順)
- ・費用 無料
- ・申込み・問合せ 1月25日(木)10:00から電話かファクスで子どもの氏名・年齢、電話・ファクス番号を明らかにして、同園(☎76-2400、FAX76-2401)

かるがものおへや

季節の歌や身体を使った遊び、手遊び、絵本の読み聞かせなど、室内で親子で遊べます。

- ・対象 市内に住む0歳～就園前の子どもと保護者
- ・ところ・定員・とき
◇南コミュニティセンターせせらぎ(8組)…2月2日(金)
◇北コミュニティセンターいすたはばたき(12組)…2月8日(木)・22日(木)
◇子育て支援総合センター(15組)…2月13日(火)・27日(火)
——時間はいずれも10:00～11:00です(受付は9:30から)。
- ・費用 無料(当日先着順)
- ・問合せ 子育て支援グループ・かるがもの会(☎75-2111、第3金曜日・祝日を除く月曜～土曜日の10:00～15:00)



健診・相談・講習会



| ところ | セラビーいこま | 問合せ | 健康課(☎75-2255)
| 申込み | 子育て相談の申込みは市ホームページの申込フォームから



はじめての離乳食講習会

離乳食の講義・調理実習・試食

- ・対象 市内に住む生後4・5か月頃の乳児(原則、第一子)の保護者
- ・とき 2月9日(金)9:45～12:00
- ・必要品 母子健康手帳、エプロン、三角巾、タオル、筆記用具、食器用布巾
- ・定員 16組(申込順)
- ・費用 300円
- ・申込み 1月12日(金)から電話で同課——託児が必要な人は申込時に伝えてください。

ママとベビーのおっぱい相談会

助産師による授乳相談・体重測定・交流会など(マッサージなどの直接的な手技は行いません)

- ・対象 市内に住む令和5年10月～令和6年1月に生まれた乳児と母親(直接、授乳状況を確認することがありますので、参加は母親に限定しています)
- ・とき 2月29日(木)10:00～11:30
- ・必要品 母子健康手帳、バスタオル、おむつや着替えなど
- ・定員 5組(申込順)
- ・申込み・問合せ 2月15日(木)10:00から電話で同課マタニティコンシェルジュ(☎75-1175)

10か月児すくすく子育て相談

身体計測、育児・栄養相談、手遊びの紹介(全て希望制)

- ・対象 市内に住む令和5年3・4月に生まれた乳児と保護者
- ・とき 2月27日(火)9:00～10:00(要申込)
- ・必要品 母子健康手帳、バスタオル

2歳6か月児歯の相談・子育て相談

身体計測、育児・歯科・栄養・発達相談(全て希望制)

- ・対象 市内に住む令和3年7～9月に生まれた幼児と保護者
- ・とき 2月16日(金)9:00～10:00(要申込)
- ・必要品 母子健康手帳

3歳児歯科健康診査・子育て相談

歯科医師による歯科健診、育児・歯科・栄養・発達相談(歯科健診以外は希望制)

- ・対象 市内に住む令和3年1・2月に生まれた幼児と保護者
- ・とき 2月22日(木)9:00～10:00(要申込)
- ・必要品 母子健康手帳
- ・注意 虫歯になりやすい年齢です。必ず受診しましょう。

特集「感じる缶CAN」



**小さなパン屋が
社会を変える**
世界にはばたくパンの缶詰
すがせい こ
菅聖子／著
ウェッジ

那須塩原にある小さなパン屋が開発した、長期保存で非常食にもなるパンの缶詰。開発のきっかけは阪神・淡路大震災のとき、被災地に届けたパンが傷んでしまったことでした。缶詰は日本を飛び出し、世界の飢餓地域や被災地にも届けられるプロジェクトへと成長。その過程を詳しく紹介しています。

司書おすすめの本／^{いがわ なつみ}居川菜都美(生駒駅前図書室)



黒い糸
^{ためひと}
染井為人／著
KADOKAWA

結婚相談所で働く亜紀は、顧客からの嫌がらせに苦しめられます。一方、亜紀の息子・小太郎が通う小学校では、同じクラスの女子児童が失踪する事件が起こっていました。事件の後にクラスの担任となった長谷川は事件の調査に乗り出します。彼らの周辺で次々に起こる不可解な出来事が糸のように絡み合い、最後には背筋も凍る展開が待っています。

みんなのおはなし会＆節分のかんたん工作

おはなし会を楽しんだ後、節分の鬼のお面と豆入れを作ります。

- ▷対象 市内に住む人(未就学児は要保護者同伴)
- ▷とき・ところ 1月27日(土)10:30～11:30、鹿ノ台ふれあいホール
- ▷定員 30人(抽選制)
- ▷申込み 1月18日(木)までに市ホームページの申込フォームからか直接、市内5図書館・室
- ▷問合せ 鹿ノ台ふれあいホール図書室



福は内、
鬼は外!

親子で英語えほんの会

英語のわらべうたや手遊び、絵本の読み聞かせなどをします。語り手は関西ランゲージセンター代表の堀坂明日香さんです。



- ▷とき・ところ 1月28日(日)10:30～11:15、生駒駅前図書室
- ▷定員 10人(抽選制)
- ▷申込み 1月23日(火)までに市ホームページの申込フォームからか直接、生駒駅前図書室

第9回ビブリオバトル全国大会inいこま 予選会

お気に入りの一冊を5分で紹介し、観戦者が一番読みたかった本に投票する知的書評合戦「ビブリオバトル」。3月10日(日)開催の全国大会に向け予選会を開催します。

■生駒予選会の発表者・観戦者を募集！

- ▷とき・ところ 2月10日(土)14:30から、図書館
- ▷定員 発表者6人、観戦者50人程度
- ▷申込み 発表者・観戦者ともに生駒ビブリオ倶楽部ホームページからか電話、直接、市内5図書館・室

申込み



■オンライン予選会をYouTubeで観戦しよう！

- ▷とき 2月3日(土)の10:00から・14:30から、4日(日)の10:00から・14:30から
- ▷申込み 同倶楽部ホームページから

申込み



みなみんパペットシアター

市内の人形劇サークルによる人形劇。演目は「あひるのたまご」他です。

- ▷とき・ところ 2月25日(日)11:00～11:40、南コミュニティセンターせせらぎ
- ▷定員 150人(申込順)
- ▷申込み 1月20日(土)から市ホームページの申込フォームから
- ▷問合せ 図書館南分館



問合せ(市内図書館・室)

- ◇図書館本館 ☎0743-75-5000
- ◇北分館(北コミュニティセンター^{イスタ}はばたき内) ☎71-3332
- ◇南分館(南コミュニティセンターせせらぎ内) ☎77-0005

◇生駒駅前図書室 ☎73-7611

◇鹿ノ台図書室 ☎78-9973

図書館のホームページはこちら▶



☑ 11月13日(月)



食品パッケージから世界を知る

俵口小学校6年生が、NPO法人インターナショナルの佐久間文恵さんたちから、世界の暮らしや文化を学ぶ授業を受けました。クイズ形式で日常の中にある異文化について学んだ後は、世界各国の食品パッケージを使って、「ピクトグラム(マーク)」探しに挑戦。授業を通して、「食」の視点から多様性や思いやりに触れる機会になりました。

☑ 11月19日(日)



花や緑に触れて、自然を感じる一日

花のまちづくりセンターふろーらむで、「花・緑まちづくりフェスタ」を開催しました。竹とんぼ作りや丸太切りなどの体験コーナーやワークショップ、園芸市など、さまざまな関わり方で自然に親しむ来園者の皆さん。竹こっぽりコーナーに参加した吉澤稔さんは「竹を切るのはいへんでした。自分だけの作品ができてうれしい」と、笑顔で話していました。

☑ 11月23日(祝)



歩いて・見て・感じて、街なみを考える

門前町の参道から生駒駅南口周辺までを歩き、専門家の話を聞いて街なみについて考えるイベントを開きました。参加したのは小学生や70歳以上を含む22人。「昔の歴史を感じる」「見下ろしたときの景観が良い」など、それぞれの視点で、魅力を発見していました。今回のイベントをきっかけに、このエリアの景観形成に取り組んでいきます。

☑ 11月30日(木)



奈良県中から集まった力作がずらり

芸術会館美楽来で第51回奈良県障害者作品展が開催されました。会場を彩るのは、水彩や陶芸、手芸、書道など、色とりどりのアート作品の数々。(福)かざぐるまに通うメンバー10人で、さをり織りの合同作品「チーム虹」を作った二宮理恵さんと池端晃一さんは、作品を見て「うれしい」と笑顔でした。

バスでまちぶら



路線バスで行ける、市内のおすすめスポットを紹介합니다。ぜひ足を運んでください。
問事業計画課(☎0743-74-1111、内線2521)

冬の風物詩を、高山竹林園で



傘を広げたように竹を組み合わせた「竹の寒干し」は、この時期にしか見られない生駒の風物詩です。市外から移り住んだ20年ほど前に初めて見たときは、稲の天日干しだと思いました(笑)寒風にさらされ、日光に当たった竹は、約1か月で白色に変わります。これが茶釜の材料になると知ったときは、感動しました。高山竹林園では3月初旬まで見られる予定です。ぜひ訪れてみてください。

奈良交通(株) 北大和営業所 指導運転者 植田義和 さん



バスについては奈良交通お客様サービスセンター(☎0742-20-3100)に問い合わせてください。

～生駒再発見～

Rediscover IKOMA

「奈良先端大^{ナイス}(NAIST)」の留学生が、生駒の魅力的な場所やイベントなどを留学生目線で紹介します。

閤人権施策課(☎74-1111、内線3270)

A great chance to meet
new people and cultures

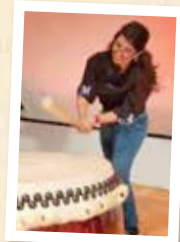


/ 新たな人や文化に出会える機会



「2023いこま国際Friendshipフェスタ」に参加しました。韓国や日本の楽器演奏が楽しめ、最後は留学生が和太鼓を体験できる時間も。

他にも、浴衣体験や外国の食にふれられる企画がたくさんありました。インドに興味がある人と話すこともできるなど、地域の皆さんや他の学生と交流する機会になりました。



紹介してくれたのは…

インド出身。環境微生物学を学んでいます。絵を描くことや絵本を読むのが趣味。あんなことが大好きです。

アルドラさん



ネットでの宿泊予約でトラブルに！ キャンセル条件などを確認しましょう

Q 旅行予約サイトで3か月先の宿泊を予約し、クレジットカードで決済した後に、宿泊日を間違えて入力したことに気づいた。急いでキャンセルの手続きをしたが、キャンセル料として宿泊費の100%がかかることが分かった。3か月も先の予約なのに納得できない。払わないといけなのだろうか。(30歳代、女性)

A 旅行予約サイトは手軽に予約できる反面、契約の条件(キャンセル、変更など)や予約内容(宿泊日、利用人数、宿泊プランなど)、利用規約など、予約を確定する前に消費者自身がじゅうぶんに確認しなければ思いがけないトラブルに遭う可能性があります。キャンセルをすると、予約サイト上に掲示された宿泊施設が別途定めるキャンセル料を支払うものとされ、宿泊日が数か月先であっても返金されない場合もあります。

また、日本語表示のサイトでも海外の業者が運営していることも多く、トラブルになったときに、日本語で対応されるとは限らず、日本の法律などに基づいた交渉が難しい場合があります。利用する前に、運営するのは日本の業者か海外の業者か必ず確認してください。海外の業者であれば、カスタマー対応窓口の情報(電話・メールなどの連絡方法や日本語で問い合わせができるか、窓口開設時間など)も併せて確認しておきましょう。

消費生活や多重債務の相談は、できるだけ早く
消費生活センター(☎0743-73-0550)へ
月曜～金曜日の9:00～16:30(祝日は除く)
出前講座も実施しています。詳しくは問い合わせください。



広報担当者が見つけた「生駒の冬」

のどかな風景を眺めながら 絵馬に願いを



壱分町を線路沿いに歩くと、開けた風景に出会えます。晴れた日の散歩にぜひ。



往馬大社は絵馬発祥の地と言われています。馬の形の絵馬で、願掛けをしてみたい。

山中からの朝の絶景



宝山寺付近から見る朝日がきれいで、おすすめ。初日の出を見に来る人も多いです。

足湯で冷え性対策



かんぎのゆ 足湯で、全身がぽかぽかに。生駒の山並みを眺めながらリラックスできます。

閤広報広聴課(内線4211)

長い道草をして見つけた、 「自然農」という生き方

石尾修一さん

Ishio Shuichi



(一社)和草副代表理事。長野県で数学教師をした後、農家に転身。4月から大人のフリースクール「道草農園」をスタート。奈良市出身、本市在住。52歳。

小 平尾町にある農地・五反原^{ごたんばら}の里で毎月2回、多様な人が集う「学校」が開かれている。大人のフリースクール「道草農園」だ。山の新鮮な空気を吸い、汗を流して取り組む農作業。収穫した野菜で作ったみそ汁をおかず、みんなでご飯を食べると、体はくたびれているはずなのに、どこか心地良さを感じる。

「多様な人が特別な目的を持たずに、ゆるく、のんびりと関わり合う居場所を創りたいと思いました。農を通じて、生きている実感を取り戻してもらえたらうれしいです」

教 員をしていた20代のとき、偶然手にした一冊の本。畑を耕さず、肥料や農薬を使わない「自然農」の考え方を知る。植物や虫の種類が多い畑ほど豊かだという思想は、教育にも通じると思った。

「子どもが自分らしくいられる場所がたくさんあれば、もっと豊かな世界になるはず。そうした居場所を創るためには、『自然農』にヒントがあるのではないかと考えました」

教員を辞め、長野県の農業大学校に入学。朝から夕方まで農作業に明け暮れた。卒業後は、障がい者支援施設で農作業したり、農業大学校で農業体験を手伝ったり、さまざまな土地で農業に関わり続ける。実家のある生駒で何かを始めようと考

え出したのは、教員を辞めてから約10年が経ったときだった。

平 成29年、人との出会いに恵まれ、(一社)和草^{にいくさ}の設立に関わった。フリースクールや個人塾の運営などに携わり、子どもたちの成長に寄り添い続けている。

「子どもたちが、それぞれのやり方、それぞれのペースで成長していく支えになればと考えています。それは自然に任せれば自ら豊かになっていく『自然農』の考え方そのもの。10年の長い道草があったからこそ、自分なりの社会への関わり方を見つけられた気がします」

子どもにフリースクールがあるように、大人にもそういう居場所があったらよいのではないか。そんな疑問が「道草農園」を思いついたきっかけだ。

「年齢や立場を超えて、さまざまな人が対等に集える場所を目指しています。いつか収穫した野菜を皆さんに販売できたら楽しいですね」

Pick Up



石尾さんが開墾し、
整備し続ける五反原の里

山中には陽が差し込み、冬でも暖かい。道草農園の活動はInstagramで発信しています。

Instagramはこちら▶



今月の 編集後記

特集担当でいろんなまちの伝統を取材しに行きました。初めて知ったものが多く、本気の「へえ〜」「すごい」を何回言ったかわかりません。地元の伝統を守り、残したいという皆さんの気持ちが感じられ、心があったかくなる取材でした。(紀)

街人探訪の取材で、五反原の里へ。暖かな陽光の下、鳥のさえずりを聞きながら、静かな山中で石尾さんにインタビューしました。さまざまな経験が今につながる話を聞いて、人生で無駄なこととは何一つないんだと、勇気をもらいました。(高)

あけましておめでとうございます。笑顔写真を集めたページなどを担当。企画段階は集まるか不安でしたが、すてきな写真がたくさん集まりました。制作中は笑顔がうつり常にニヤニヤ。今年が皆さんにとって、笑顔あふれる年になりますように。(泉)

寒さが厳しい時季になりました。今年もよろしくお祈りします。昔は夏が1番だと思っていましたが、今は断然、冬派。季節のイベントが盛りだくさんだったり、鼻が少しツーンとする寒い空気が心地よかったり、冬の魅力を実感します。(堀)

突然ですが、市LINE公式アカウントの便利な機能を一部ご紹介。「災害メニュー」タブでは、河川の水位を確認できるページや避難情報発令状況へのリンク、現在地の近くの避難所検索など、平常時も災害時にも使える機能が揃っています。(古)

「ちがii」を知ろう・楽しもう

自分の「当たり前」は、誰かにとっては「当たり前」ではないかも…。そんなさまざまな「ちがii」を写真や動画で楽しく知るコーナーです。
図障がい福祉課(☎0743-74-1111、内線7260)

YouTubeで
手話の動きを
確認!



点字ブロックは、たいせつな道しるべ

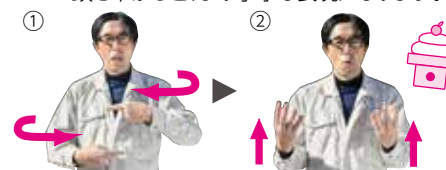
1965年、岡山市で世界初の「点字ブロック(視覚障害者用誘導ブロック)」が誕生。視覚に障がいのある人の道しるべとして、全国に広まっていきました。

視覚に障がいのある人は、点字ブロックの形状や位置を頼りに歩きます。点字ブロックの上に自転車などの障害物を置くことや立ち止まることなどは安全な通行を妨げ、危険です。安全な歩行のために協力をお願いします。

プチ手話講座

「あけましておめでとうございます」

- ①人差し指を伸ばした両手の手首を内側に向け、「一」が平行に並ぶようにします(「正月」の手話)
- ②両手指先をすばめた手を上に上げながらパッと開きます(「おめでとう」の手話)
——頭も下げると、より丁寧な表現になります。



生駒市立病院のお仕事図鑑

医療現場を支える、さまざまな職種を紹介します。

図同院(☎72-1111)

診療放射線技師

杉山優さん



診療放射線技師の仕事は、放射線を利用した検査・治療をすることです。健康診断でなじみのあるレントゲン検査や体内の断面図を撮影するCT検査、マンモグラフィと呼ばれる乳房X線検査など、さまざまな検査を担当しています。

チーム医療の中では、身体の病気を最初に発見する役割だと考えています。検査のときに身体の向きを変えたり、深呼吸してもらったりするのは、診断に必要な画像を鮮明に撮影するためです。安全・正確に検査することはもちろんですが、できるだけ早く終え、皆さんに負担が掛からないよう努めています。

広報いこま「いこまち」11月号への

読者の声

さまざまなシーンで活躍している人や地域情報を随時募集しています。ぜひ情報を提供してください。

図広報広聴課(内線4211)

実質収支が黒字に終わり良かったと思います。無駄を削減し、より黒字化を進めてほしいです。(50歳代、男性)

決算関連の記事を中心に読みましたが、知らなかったことも多く、参考になりました。(60歳代、男性)

文字ばかりで読む気にならないので、もっと写真などを入れてほしいです。(70歳代、男性)

広報広聴課は全ての記事で、文章量を含め内容を精査しています。ご意見を受け、一層見やすさ・読みやすさを意識した編集を心がけます。

アンケート回答者の中から、抽選で5名様に図書カード500円分をプレゼントしています。

アンケートモニター登録はこちら▶





家族みんなが楽しく幸せになりますように

子どもとの時間をたいせつにしたい！

笑った数だけ福が来る

明るく、元気に、前向きに

元気で仲良く過ごして欲しい！

特別
企画

今年も笑顔いっぱいの1年になりますように

とびっきりの「笑顔写真」が集まりました

市LINE公式アカウント（詳細は27ページ参照）を活用し、写真・抱負を募集しました。今後も市からのたいせつな情報や、お得な情報などを配信します。ぜひ友だち追加してください（岡広報広聴課 ☎0743-74-1111、内線4211）。——レイアウト上、調整・抜粋して掲載しています。ご了承ください。

笑顔満開



1日1日感謝を忘れずに、ありがとうを伝えて過ごしたい